

教材例集について

1. はじめに
 - 1.1 地域における日本語教育で大切なこと
 - 1.2 教材例の趣旨・期待される活用方法
 - 1.3 教材例作成のプロセス
 - 1.4 教材例の構成
2. 教材例 (※以下の数字は「標準的なカリキュラム案」と対応させており、「V 子育て・教育を行う」「VI 働く」は除いてある。)
 - I 健康・安全に暮らす
 - 01 健康を保つ
 - (01)医療機関で治療を受ける……………4ページ
 - (02)薬を利用する……………(※今後作成予定)
 - (03)健康に気を付ける……………(※今後作成予定)
 - 02 安全を守る
 - (05)災害に備え,対応する……………19ページ
 - II 住居を確保・維持する
 - 04 住環境を整える
 - (07)住居を管理する……………(※今後作成予定)
 - III 消費活動を行う
 - 05 物品購入・サービスを利用する
 - (08)物品購入・サービスを利用する……………34ページ
 - 06 お金を管理する
 - (09)金融機関を利用する……………(※今後作成予定)
 - IV 目的地に移動する
 - 07 公共交通機関を利用する
 - (10)電車,バス,飛行機,船等を利用する……………48ページ
 - (11)タクシーを利用する……………65ページ
 - 08 自力で移動する
 - (12)徒歩で移動する……………(※今後作成予定)
 - VII 人とかかわる
 - 14 他者との関係を円滑にする
 - (31)人と付き合う……………77ページ
 - VIII 社会の一員となる
 - 15 地域・社会のルール・マナーを守る
 - (33)住民としての手続をする……………(※今後作成予定)
 - (34)住民としてのマナーを守る……………(※今後作成予定)
 - 16 地域社会に参加する
 - (35)地域社会に参加する……………(※今後作成予定)
 - IX 自身を豊かにする
 - 20 余暇を楽しむ
 - (44)余暇を楽しむ……………(※今後作成予定)
 - X 情報を収集・発信する
 - 21 通信する
 - (45)郵便・宅配便を利用する……………(※今後作成予定)
 - (46)インターネットを利用する……………(※今後作成予定)
 - (47)電話・ファクシミリを利用する……………(※今後作成予定)
3. 参考資料
 - 教材例を作成する際に参考にした資料・HP等……………(※今後作成予定)

1. はじめに（※なるべく平易なことばで書く。）

1.1 地域における日本語教育で大切なこと

- ・ 学習者にはレディネス(日本語学習をどの程度行っているか等), 学習適性, 学習環境, 在留資格, 生活課題などの面において多様性があり, 多様な日本語学習のニーズが存在する。
- ・ 教える内容が先に決まっているのではなく, 学習者の状況やニーズを把握し, それに沿った形で日本語教育を行うことが重要である。
- ・ 日本語指導だけでなく, 地域住民とのつながりや社会参加を目指すことが大切。

1.2 教材例の趣旨・期待される活用方法

(教材例の趣旨について)

- ・ 標準的なカリキュラム案が目指すもの
- ・ 標準的なカリキュラム案を踏まえた教材の例示であること
- ・ 教材例で取り上げられている内容の暗記ではなく, 生活上の行為ができるようになることが目的。また, 地域の中で生活するということを考え, 自分の基本的な情報を伝え, 初対面の人と人間関係を築く基礎を作れるようになることを目指す。
- ・ 教材例は「生活者としての外国人」に対する日本語教育の在り方を具体的な教材例の形で示したものであり, 他の教材の使用を否定するものではない。地域の実情や学習者の日本語のレベルに合わせて, より有効な教室活動が展開されるよう他の教材や資料などを組み合わせながら教室活動を行うことが望ましい。

(期待される活用方法について)

- ・ 「教材例」は, そのままの状態ですべての地域ですべての学習者を対象に効果的に活用できるものではなく, 地域の実情, 学習者の日本語のレベルに合わせて教材例の内容に手を加えたり, 多言語情報を活用したり母語話者を活用したりする等, 工夫を行うことで具体的な学習者の実情に合わせることが求められる。
- ・ 学習者のニーズや地域ならではの情報を調べ, それに対応させた内容に加工していくことが, 「生活者としての外国人」に対する日本語教育では重要である。
- ・ 必要な部分を選択して使用すること(30単位/60時間に縛られる必要はない)

1.3 教材例作成のプロセス

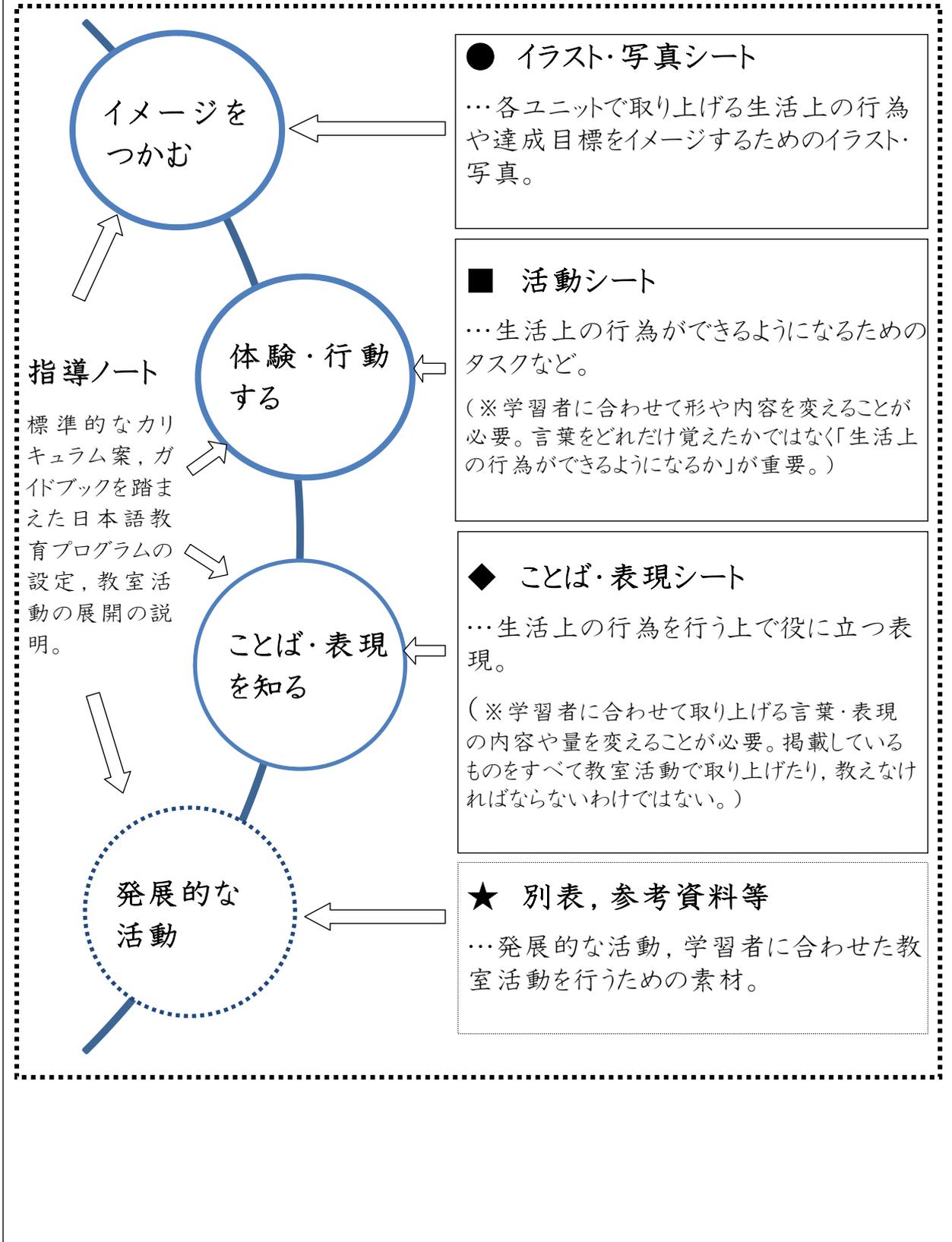
- ・ 教材例で取り上げる生活上の行為の事例の一覧と, そこからの選択過程について

1.4 教材例の構成

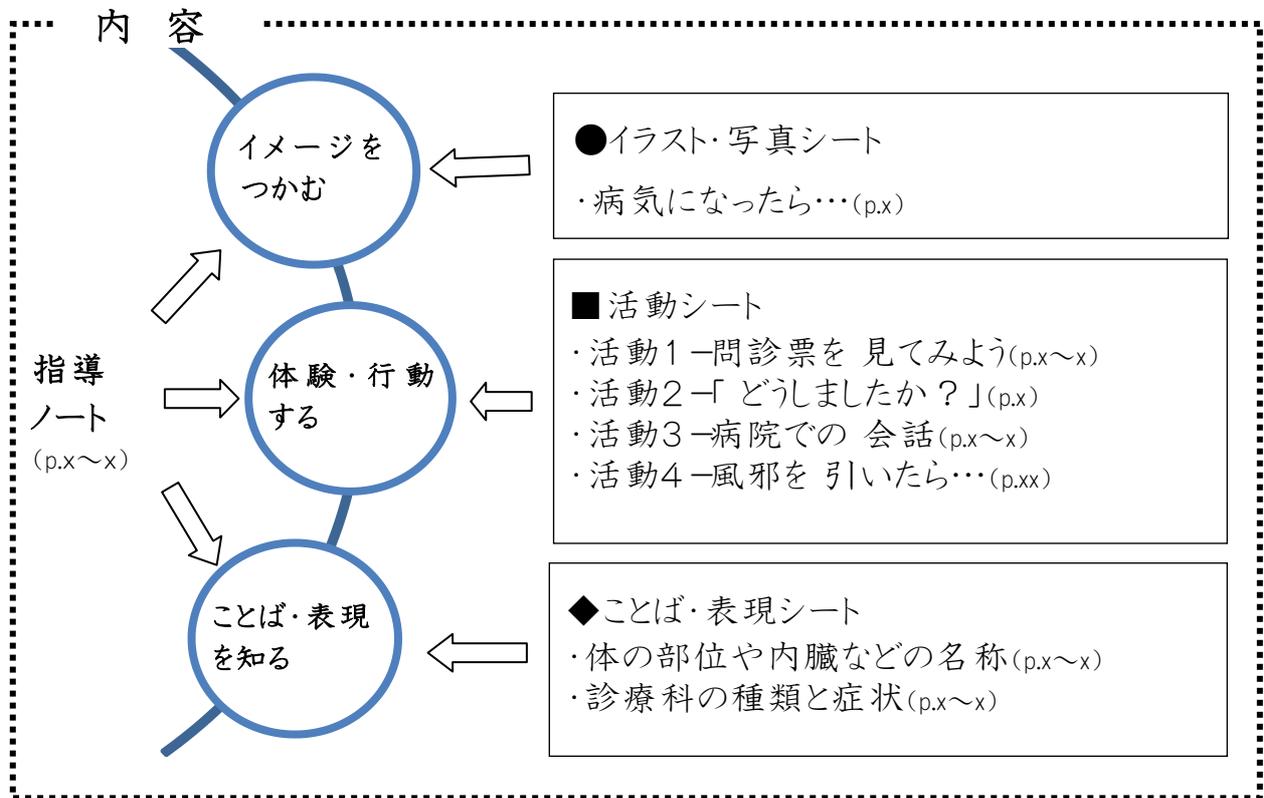
- ・ 各シート内容及び使い方について
 - ① 写真・イラストシートで取り上げる内容及び使い方について
 - ② 活動シートで取り上げる内容及び使い方について
 - ③ ことば・表現シートで取り上げる内容及び使い方について
 - ④ 別表, 参考資料等で取り上げる内容及び使い方について
 - ⑤ 各教材例の構成の図(※次ページ参照)

1.4 教材例の構成

⑤ 各教材例の構成の図



(01) 医療機関で治療を受ける



取り上げる生活上の行為の事例

- (0102010)「初診受付で手続きをする」
- (0103010)「医者診察を受ける」
- (0203120)「病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する」

教室活動の目標(○ページ参照)

- ・病気やけがをしたとき、医療機関で治療を受けることができる

教室活動のねらい(○ページ参照)

- ・症状を伝えることができる
- ・医者診察、指示が理解できる
- ・病気への対処法・生活上の注意を尋ねる
- ・病気への対処法・生活上の注意が理解できる

びょうき

● 病気になったら…

※イラスト又は写真

病院の診察室で、
医者と話している場面

(転んで怪我を

した足を

見てもらって

いるような

絵のほうが

いいか)

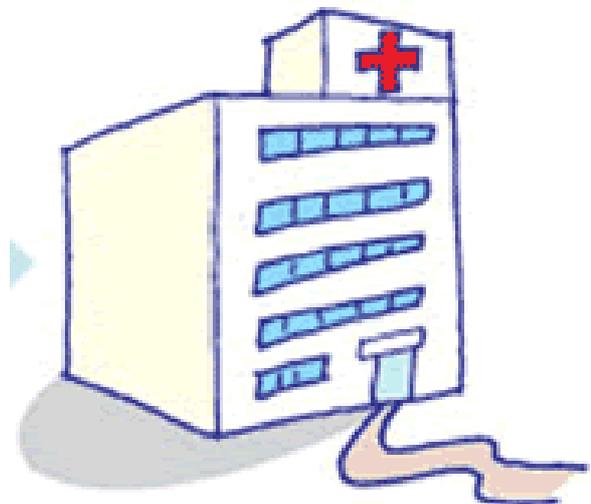
* この図は

あくまでも

イメージ・

これに背景等あったほう

がよいだろう。



■ ^{かつどう} ^{もん しん ひょう} ^み
活動1 – 問診票を 見てみよう

英語

INTERNAL MEDICINE
 内科問診票

Check (✓) all corresponding answers. year 年 month 月 day 日

Name 名前 Male 男 Female 女
 Date of birth: 生年月日 ____ year 年 ____ month 月 ____ day 日

Address 住所 Phone 電話

Do you have health insurance? 健康保険を持っていますか?
 No 無 Yes 有

Nationality 国籍 Language 言葉

What is wrong with you? どうしましたか

<input type="checkbox"/> fever (_____) 熱がある	<input type="checkbox"/> headache 頭痛	<input type="checkbox"/> sore throat 喉が痛い
<input type="checkbox"/> cough 咳	<input type="checkbox"/> palpitation 心悸	<input type="checkbox"/> chest pain 胸痛
<input type="checkbox"/> rash 発疹	<input type="checkbox"/> dizziness めまい	<input type="checkbox"/> shortness of breath 息切れ
<input type="checkbox"/> swelling むくみ	<input type="checkbox"/> stomachache 胃痛	<input type="checkbox"/> tightness in chest 胸の圧迫感
<input type="checkbox"/> abdominal pain 腹痛	<input type="checkbox"/> excessive thirst 口渇	<input type="checkbox"/> high blood pressure 高血圧
<input type="checkbox"/> numbness しびれ	<input type="checkbox"/> nausea 吐き気	<input type="checkbox"/> weight loss 体重の減少
<input type="checkbox"/> abdomen feels swollen 腹が張っている感じ	<input type="checkbox"/> feel heavy だるい	<input type="checkbox"/> lose appetite 食欲不振
<input type="checkbox"/> vomiting 嘔吐	<input type="checkbox"/> bloody stool 血便	<input type="checkbox"/> diarrhea 下痢
<input type="checkbox"/> others その他		<input type="checkbox"/> tire easily 疲れやすい

* How long have you had problems? それはいつごろからですか
 Since ____ year 年 ____ month 月 ____ day 日から

Have you ever been allergic to medication or food? 薬や食物等でアレルギーを生じたことがありますか
 No 無 Yes 有 → medication 薬 food 食物 others その他

Are you presently taking medication? 現在飲んでいる薬はありますか
 No 無 Yes 有 → if you have any with you now, please show them to me. 持っていれば見せてください

Questions for women: 女性の方への質問です

* Are you pregnant or do you have a possibility of pregnancy?
 妊娠していますが、またその可能性はありますか
 No いいえ Yes はい → ____ months ヶ月

* Are you presently breastfeeding? 授乳中ですか
 No いいえ Yes はい

What illnesses have you had in the past? 過去にどのような病気をしましたか

<input type="checkbox"/> stomach and intestinal disorder 胃腸の病気	<input type="checkbox"/> liver disease 肝臓の病気
<input type="checkbox"/> heart disease 心臓の病気	<input type="checkbox"/> kidney disease 腎臓の病気
<input type="checkbox"/> diabetes 糖尿病	<input type="checkbox"/> asthma 喘息
<input type="checkbox"/> AIDS エイズ	<input type="checkbox"/> thyroid problem 甲状腺の病気
<input type="checkbox"/> others その他	<input type="checkbox"/> tuberculosis 結核
	<input type="checkbox"/> high blood pressure 高血圧症

* Has this disease been cured? その病気は治りましたか
 No いいえ Yes はい

Have you ever had any operations? 手術を受けたことがありますか
 No いいえ Yes はい

Have you ever had a blood transfusion? 輸血を受けたことがありますか
 No いいえ Yes はい

produced by 国際交流センター高岡台 directed by DIGITAL ILM project-Illusion MI

担当医・支援者の方々へ

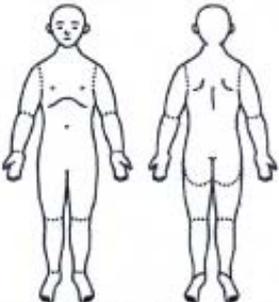
この問診票は、在日外国人支援ボランティアによって作成されたものを、インターネットや支援者のネットワークを通じて、無料で配布しているものです。画面上では、できるだけ限りの正確さをきつちりですが、間違い等が見つかりましたら御連絡を下記インターネットサイトにて郵送して頂きます。またインターネットサイトには、これ以外の科目や最新の情報も、表紙別添付欄などがありますので、必要に応じて参考してください。また、個別の相談や、追加し上はうが、い質問事項がありましたら下記のサイトにメールで情報をお知らせください。

<http://www.k-i-a.or.jp/medical/> 2013年3月発行

骨科問診表
整形外科問診票

年 月 日

姓名 名前	性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年齢
住址 住所	电话 電話	
是否持有健康保険証	健康保険を持っていますか <input type="checkbox"/> 有 はい <input type="checkbox"/> 没有 いいえ	
国籍		

有何症状? どうしましたか (请在图上标出其位置) (その箇所に印をつけてください)		<input type="checkbox"/> 疼痛 痛み <input type="checkbox"/> 外伤 けが <input type="checkbox"/> 肿胀 腫れ <input type="checkbox"/> 肿块 しこり <input type="checkbox"/> 麻木 しびれ <input type="checkbox"/> 扭伤 ひねった <input type="checkbox"/> 其他 その他
		何时开始的? いつ頃からですか 月 日
是否有药物或食物过敏史 <input type="checkbox"/> 无 いいえ <input type="checkbox"/> 有 はい→	薬や食物でアレルギーを生じることがありますか <input type="checkbox"/> 药物 薬 <input type="checkbox"/> 食物 <input type="checkbox"/> 其他 その他	
是否正在服药? <input type="checkbox"/> 否 いいえ <input type="checkbox"/> 是 はい→	現在毎日飲んでいる薬がありますか 如隨身携帯, 請給医生看一下 持っていれば見せてください	
请问女性患者 女性に聞きます 现在是否正在怀孕或可能怀孕 <input type="checkbox"/> 否 いいえ <input type="checkbox"/> 是 はい→	妊娠していますか、また可能性はありますか 几个月 何ヶ月	
是否正在哺乳 <input type="checkbox"/> 否 いいえ <input type="checkbox"/> 是 はい	授乳中ですか	
迄今为止曾患过何种疾病? <input type="checkbox"/> 肠胃病 胃腸の病気 <input type="checkbox"/> 肝脏病 肝臓の病気 <input type="checkbox"/> 心脏病 心臓の病気 <input type="checkbox"/> 肾脏病 腎臓の病気 <input type="checkbox"/> 结核病 結核 <input type="checkbox"/> 高血压 高血圧症 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 甲状腺疾患 甲状腺の病気 <input type="checkbox"/> 哮喘 喘息 <input type="checkbox"/> 艾滋病 エイズ <input type="checkbox"/> 其他 その他	今までにかかった病気はありますか	
所患疾病是否已治愈? <input type="checkbox"/> 否 いいえ <input type="checkbox"/> 是 はい	その病気は治りましたか	
是否接受过手术治疗? <input type="checkbox"/> 否 いいえ <input type="checkbox"/> 是 はい	手術を受けたことがありますか	
是否接受过输血? <input type="checkbox"/> 否 いいえ <input type="checkbox"/> 是 はい	輸血を受けたことがありますか	

かつ どう
活動2-「 どう しましたか? 」

「^{たげんご}多言語^{いりょうもんしんひょう}医療問診票」を ^{つか}使って、^{ことば}ことばを ^{かくにん}確認^{せん}しましょう。線^{せん}で つなぎましょう。

どこへ ^い行きますか?

げ ^か外科

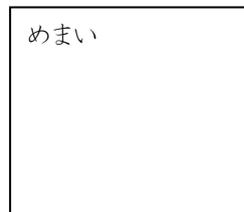
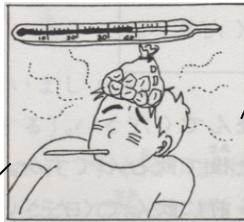
ない ^か内科

しょう ^{にか}小児科

さん ^{ふじん}産婦人科

ひ ^ふ皮膚科

せい ^{けい}整形外科



どう しましたか?

(a) せきが ^で出る

(b) やけど

(c) はつねつ
 (^{ねつ}熱が ある)

(d) めまいが ^{する}

(e) はっしんが ある
 (^{ぶつぶつ}ブツブツが ある)

(f) ^{こし}腰を ^う打った
 (だぼく した)

■ 活動3－病院での 会話

会話1〔受付で〕

受付で、会話をしているイラスト。所定の問診票のかわりに、事前に記入してきた多言語医療問診票を提出する

A さん：あのう、初めて なんですが。

受付の人：初診ですね。こちらの 問診票に 記入してください。

A さん：(多言語医療問診票を 渡しながら)これ、書いてきました。

会話2〔診察室で〕

診察室で、医師と下のような会話をしているイラスト

医師：どうしましたか。

A さん：昨日から 頭が 痛いんです(多言語医療問診票を 見せながら)。熱が あります。

医師：口を 大きく 開けてください。

かぜですね。5日分の 薬を 出しておきます。

かいわ しんさつしつ
会話3(診察室で)

診察室で、医師と下のような会話をしているイラスト。患者は女性。
足首がはれている。

い し 医師： どう しましたか。

B さん： 転んで 足首が 痛いんです(多言語医療問診票を 見せながら)。

い し 医師： ちょっと 見せてください。

B さん： ここ です。

い し 医師： 少し はれていますね。レントゲンを 撮りましょう。

B さん： はい。

レントゲン写真を見ながら、医師が説明をしている写真。

い し 医師：(レントゲン写真を 見せながら)骨に 異常は ありません。
ねんごですね。シップ薬を 出しますから、はってください。

B さん： あの、お風呂に 入っても 大丈夫でしょうか。

い し 医師： 今日はお風呂に 入らないでください。
来週 また 来てください。

■ 活動4－風邪を引いたら…

あなたは、風邪を引いたとき、どうしますか。

あなたの出身地(国, 地域)の人々は、よくどんなことをしますか。

A: あたたかくして、早く寝る

B: 牛肉を食べる

C: みかんの皮を焼いて食べる

D: しょうがを食べる

E: チキン スープを飲む

F: 蛇の スープを飲む

G: お祈りをする

F: _____

いろいろな人に聞いてみましょう。

_____さん  

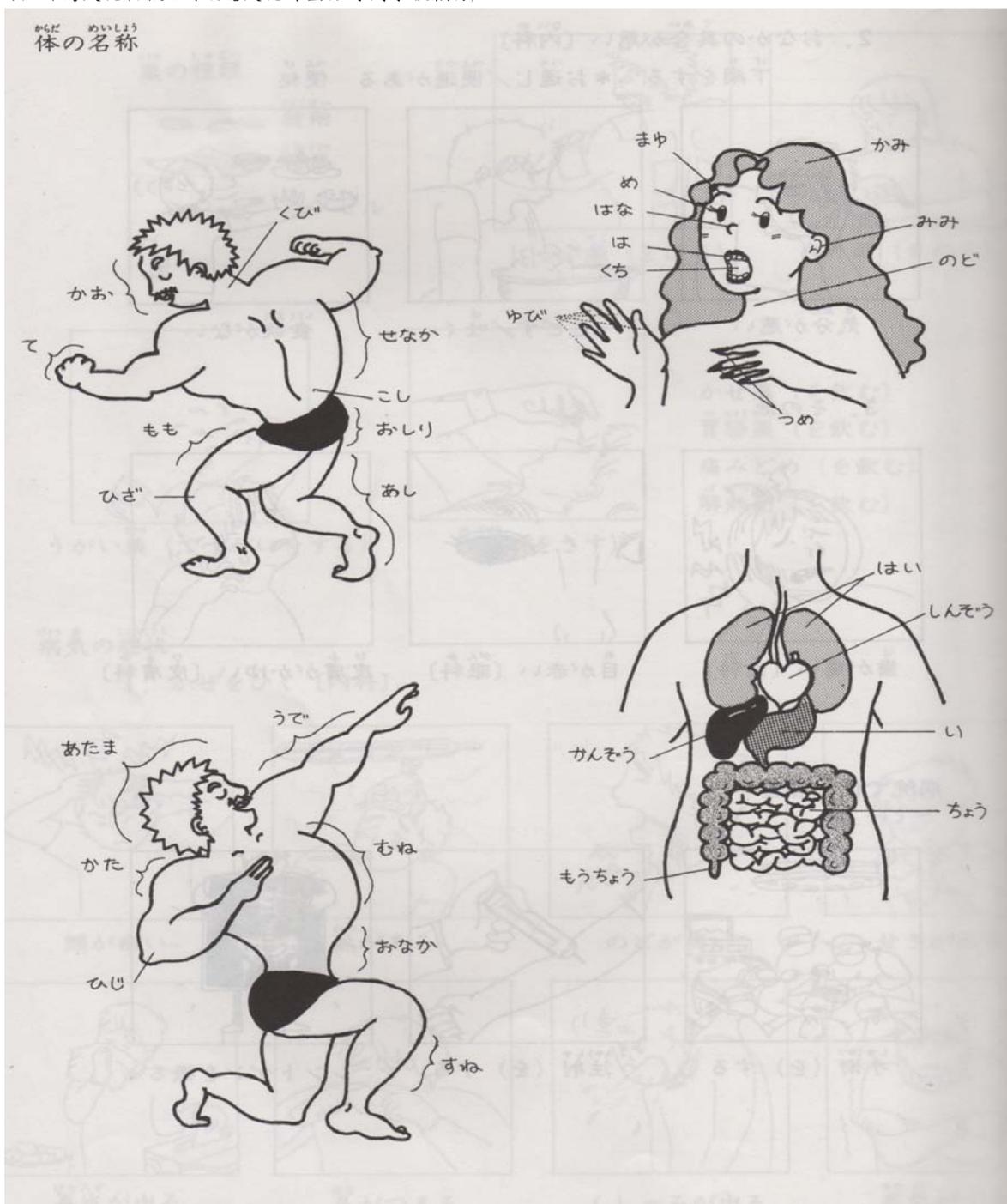
_____さん  

_____さん  

いろいろな方法がありますね！ みんなちがうように見えますが、共通していること(同じこと)は何でしょう？

からだ ぶ い ない ぞう めいしょう
 ◆ 体の 部位や 内臓などの 名称

イラスト:『文化初級日本語』文化外国語専門学校編より



◆ 診療科の種類と症状

(1) 診療科の種類

- ・眼科(がんか)
- ・皮膚科(ひふか)
- ・外科(げか)
- ・脳神経外科(のうしんけいげか)
- ・産婦人科(さんふじんか)
- ・耳鼻咽喉科(じびいんこうか)
- ・内科(ないか)
- ・整形外科(せいけいげか)
- ・小児科(しょうにか)
- ・歯科(しか)

(2) 症状

- ・頭が痛い(あたまがいたい)
- ・歯が痛い(はがいたい)
- ・喉が痛い(のどがいたい)
- ・咳が出る(せきがでる)
- ・くしゃみが出る(くしゃみがでる)
- ・鼻水が出る(はなみずがでる)
- ・鼻血が出る(はなちがでる)
- ・鼻づまり(はなづまり)
- ・鼻がムズムズする(はながむずむずする)
- ・花粉症(かふんしょう)
- ・やけど
- ・捻挫(ねんざ)
- ・下痢(げり)
- ・熱がある(ねつがある)
- ・腰を打った(こしをうった)
- ・寒気がする(さむけがする)
- ・目が赤い(めがあかい)
- ・発疹がある(はっしんがある)
- ・かゆい
- ・食欲がない(しょくよくがない)
- ・吐く(はく) ・もどす ・嘔吐する(おうとする) ・ムカムカする(むかむかする)
- ・気分が悪い(きぶんがわるい)
- ・めまいがする
- ・出血がある(しゅっけつがある)
- ・頭痛(ずつう)
- ・歯痛(しつう)
- ・鼻がつまる(はながつまる)
- ・発熱(はつねつ)
- ・打撲した(だぼくした)
- ・ブツブツがある(ぶつぶつがある)

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0102010)「初診受付で手続きをする」

(0103010)「医者診察を受ける」

(0203120)「病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する」

教室活動の目標

- － 病気やけがのとき、医療機関で治療を受けることができる。

教室活動のねらい

- － 症状を伝えることができる。(活動1, 活動2, 活動3)
- － 医者診察, 指示が理解できる。(活動3)
- － 病気への対処法・生活上の注意を尋ねる。(活動3)
- － 病気への対処法・生活上の注意が理解できる。(活動3)

活動前に確認しておくこと

- － 学習者の居住地域の主要な病院の情報, 医療機関の種類
- － 外国人診察に評判が高い診療所の情報
- － 医療通訳サービスの情報
- － 多言語医療問診票, 診療科目
- － 受診の流れ, 医療保険制度など

準備する素材

- － 学習者の母語で書かれた問診票
- － 症状を表わす絵カード
- － おもちゃの聴診器, 喉を照らすライト, 白衣など診療場面用の小道具
- － 日本の医療に関する多言語情報(学習者の理解できる言語の翻訳)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・病気になったら…(p.x)

- ・「イラスト・写真シート」(p.x)を提示しながら、学習者に病気をした経験や、病院や医院で診察を受けた経験について尋ね、話してもらいます。どんな症状で、どの病院(医院)にかかったか、どんなふうに医者とコミュニケーションをしたかなどを話してもらえるように引き出します。

< 問いかけ例 >

「ここはどこですか。なにをしていますか。」

「どんなとき、病院に行きますか。」

「〇〇さんは、日本で病院に行ったことがありますか。」

「ひとりで行きましたか。」

「日本語でお医者さんと話をしましたか。」

体験・行動する

- 活動シート
- ・活動1－問診票を見てみよう(p.x～p.x)

- ・多言語医療問診票の紹介

- ① 事前に多言語医療問診票のホームページから、学習者の母語の問診票をダウンロードし(内科, 小児科, 整形外科, 外科, 耳鼻科, 眼科, 皮膚科, 産婦人科, 脳神経外科, 歯科), 配布できるように準備しておきます。

- ・多言語医療問診票 (NPO 法人国際交流ハーティ港南台 作成)

<http://www.k-i-a.or.jp/medical/> 及び

<http://www.mm.jp.or.jp/konan-international-lounge/jmonshin/top.htm>

よりダウンロード可能(詳細は『標準的なカリキュラム案について』p.11 参照)

- ② イラスト・写真シートで話を進めながら、「これを使ったことがありますか」と多言語医療問

診票を提示し、学習者に配布します。

- ③ 内科，小児科，整形外科，外科，耳鼻科，眼科，皮膚科，産婦人科，脳神経外科，歯科をそれぞれ参照しながら，診療科の名前と意味を確認します。
- ④ 問診票はインターネットでダウンロードできることを伝え，URLを知らせておくといでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－「どうしましたか？」(p.x)

- ・「どうしましたか？」の活動シートを使って，症状の表現を確認します。
- ① 学習者に活動シートを配布します。
 - ② 指導者は活動シートの絵を指しながら，学習者に「どこへ行きますか？」と問いかけて，まずはかかるべき診療科を学習者に特定してもらうよう促します（指導者は活動シートの絵を拡大コピーして1枚ずつカード状にして，学習者に提示できるようにしておく，より進めやすいでしょう）。
 - ③ 学習者が診療科の問診票の多言語訳を参照しながら，該当する症状の表現を見つけたら，発音を確認しながら，絵と，症状の表現と，診療科の名称を線で結んでもらうようにします。
 - ④ 活動シートでのマッチングが終わったあと，カードを使ってカルタ形式で，症状の名前を言ってカードを取るゲームをしてもよいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動3－病院での会話(p.x～x)

- ① 活動3の会話のデモンストレーションをします（指導者と学習者，あるいは，教室に地域からの協力者がいれば会話に参加してもらう形で）。
- ② 学習者は2人1組のペアになり，会話1・会話2・会話3を実演練習します。
- ③ 活動2や「ことば・表現」(p.xx)の症状の表現の絵を拡大コピーして切り離し，絵カード状にしたものを，指導者は準備しておきます。これらのカードから1枚を，学習者に1枚ひいてもらいます。

④ カードをひいた学習者は、カードに示された症状にあわせて、会話1・会話2・会話3を適宜アレンジして、実演します。

- ・ おもちゃの聴診器，喉を照らす豆ライトなどを準備して小道具として使用するとよいでしょう。
- ・ 学習者のレベルに応じ，内容は調整してください。日本語がほとんどできない学習者の場合は，多言語医療問診票を使って，最低限のことを伝えることができる方法を優先して示してください。
- ・ 学習者に，自分でどう表現したらよいかわからなかった症状についての表現，医師に言われたけれどよく理解できなかったことなどを聞いてもよいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動4－風邪を引いたら…(p.x)

- ① 活動4のシートを使って，学習者それぞれの風邪をひいたときの対処法について話し合います。
 - ② 自分の対処法について，シートのA～Gから選ぶか，Fに自由に書き込んでもらいます。
 - ③ 教室の他の学習者や地域からの支援者の人にも尋ねて，答えを書き込んでもらいます。
- ・ それぞれに多様な異なる対処法があり，その多様性を認識すると同時に，底辺に流れる共通点(人はよりよく生きるために助け合い，知恵を共有し，世代を超えて伝え合う)についても考えていけるといいでしょう。
 - ・ 活動4は文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』掲載の「だれの常識？」(p.46)をもとに構成したものです。ホームページからもとの記事の多言語版をダウンロードすることができるので，学習者の母語に合わせて提供するとより理解が深まるでしょう。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

- ・体の部位や内臓などの名称(p.xx)
- ・診療科の種類と症状(p.xx)

- ・体の部位や内臓の名称は診察時に、症状を訴える時に必要なことばです。絵を見せて、学習者が必要なことばを与えるといいでしょう。ことばに慣れたら、次に、p.xxの症状の表現とともに学習するといいでしょう。
- ・多言語医療問診票は診療科目によって、各々あります。診療科目の名前と意味を確認させてください。症状によって、どの診療科を選択するか考えさせて活動2を行います。
- ・問診票を見せて、学習者がわからないことばを聞いてきたら、意味とともに確認するとよいでしょう。

【参考情報】

医療機関

〔医院・診療所・クリニック〕

地域の小規模な病院。具合が悪くなったら、まずここに行きましょう。

〔総合病院〕

複数の診療科がある大きな病院。

受診の流れ

医療機関によって違いますので、大体の参考にしてください。歯科など予約制の医療機関もありますが、当日の受付順での診察が多いです。

	医院・診療所・クリニック	総合病院
初診のとき	①受付で保険証（→P.25）を出して、「初めて」だと言います。 ②問診票を書きます。分からないときは「日本語が分かりません」と言ってください。 ③待合室で名前が呼ばれるのを待ちます。 ④名前を呼ばれたら、診察室へ入って診察を受けます。	①総合受付で、診療申込書に必要な事項を書いて、保険証と一緒に出します。 ②受付順に名前が呼ばれます。カルテを受け取って、受診科の受付にカルテを出して、受診科の近くで待ちます。 ③問診票を書きます。 ④名前が呼ばれたら、診察室へ入って診察を受けます。
再診のとき	①診察券（月が変わったら保険証も）を受付に出します。 ②待合室で名前が呼ばれるのを待ちます。	①直接、受診する科へ行って、診察券（月が変わったら保険証も）を出します。総合受付に再診受付権があるときは、それで受付します。 ②受診科の近くで名前が呼ばれるのを待ちます。
診察のあと	①待合室に戻って待ちます。 ②名前を呼ばれたら、処方箋、診察券、保険証をもらって支払をします。 ③調剤薬局に行って処方箋を渡して薬をもらいます。薬代は診療費と別に払います。	①料金支払窓口（総合窓口と別のことがあります）で待ちます。 ②名前を呼ばれたら、処方箋、診察券、保険証をもらって支払をします。 ③調剤薬局に行って処方箋を渡して薬をもらいます。薬代は診療費と別に払います。

※総合病院は、医院などの紹介状が必要なこともあります。
 ※薬は医療機関内の薬局で受け取ることもあります。

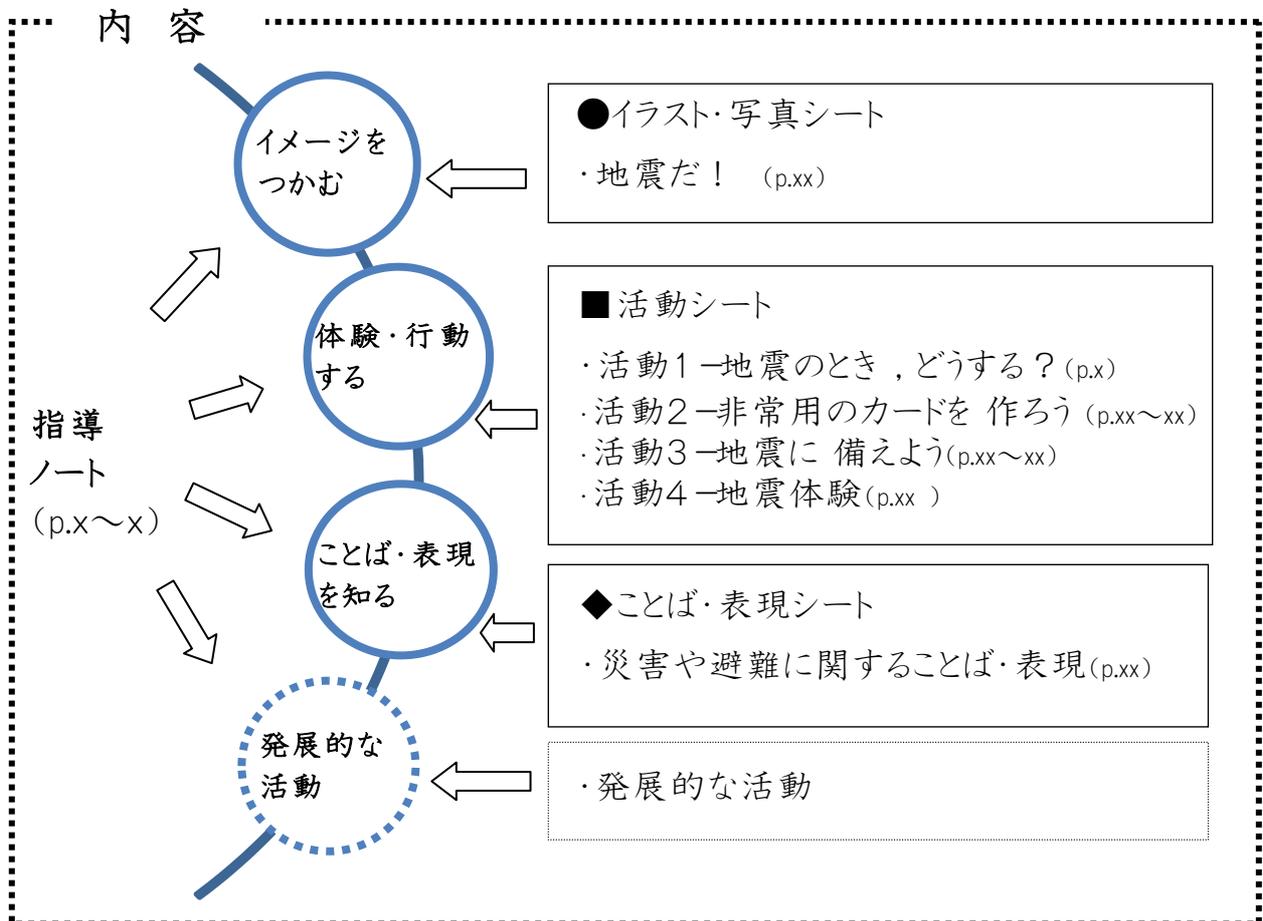
医療保険

	国民健康保険	健康保険
対象	日本に1年以上住む人	就労できる在留資格をもち会社などで働く人
手続	市区町村の役所でします	会社が手続をします
保険料	全額自己負担	源泉徴収 (50%は会社が負担します)
病気・けがのとき	本人と家族は3割の自己負担で治療が受けられます (3歳以上 → 2割 70歳以上75歳未満 → 1割)	仕事以外の病気・けがは左と同じです 仕事中の病気・けがは労災の対象です (→P.29)
高額医療費制度	1か月の医療費の自己負担額が高額になったときに、申請するとその一部が後日払い戻されます	
その他	保険証が交付されます	

文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/kyouiku/handbook/index.html

(05) 地震だ！



取り上げる生活上の行為の事例

- (0501030)「避難場所・方法を理解する・人に聞く」
- (0502010)「地震について理解する」
- (0502020)「身を守る」

教室活動の目標(○ページ参照)

- ・地震の時に行動できるようにする

教室活動のねらい(○ページ参照)

- ・避難場所や避難方法の注意書きを読んで理解できる
- ・身の守り方について説明を読んで理解できる
- ・地震に備えることができる

● じしん
地震だ！

地震のイラスト

ゆれている

避難場所を示すマークのイラスト

道路が割れているイラスト

■

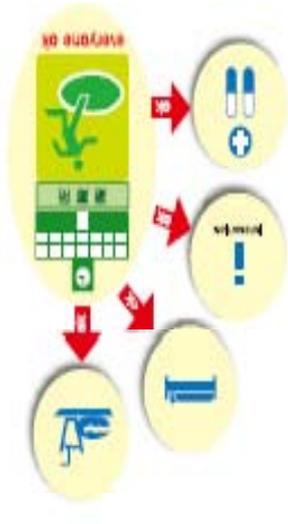
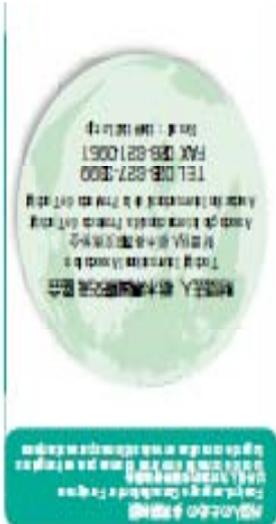
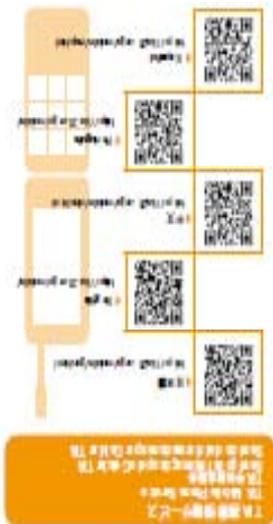
かつどう
じしん
活動1－地震のとき, どうする?

地震じしんのとき, どうしたら いいですか? いいと 思うおもものに ○を, よくないと 思うおもものに ×を つけましょう。分わからないときは, まわりの人ひとにも 聞きいてみましょ。

イラスト くつを履 <small>は</small> かずに飛び出す	イラスト くつを履 <small>は</small> いて外 <small>そと</small> に出る
イラスト ゆれているときにそとに飛び出す	イラスト まどをあける
イラスト ゆれているときに, 机 <small>いす</small> の下 <small>した</small> に隠 <small>かく</small> れる	イラスト 台所 <small>だいしよ</small> のガス <small>がす</small> を止 <small>と</small> める
イラスト エレベーター <small>エレベーター</small> を使う 海辺 <small>うみべ</small> , 高台 <small>たかだい</small> に逃 <small>に</small> げる	イラスト 階段 <small>かいだん</small> で逃 <small>に</small> げる

活動2-非常用のカードを作ろう

非常時のために、普段から持ち歩くカードを作りましょう。



地震・災害時のための避難カード

Card for Earthquake/Disaster Evacuation Card
 地震災害対策のための避難カード
 Tarjeta de emergencia para casos de terremotos y desastres
 Tarjeta de emergencia para casos de terremotos y desastres



平成 20 年 10 月発行
 栃木県産業労働部国際労働局
 Tochigi Prefecture Department of Industry, Labor
 and Tourism International Affairs Division
 〒329-6261 宇都宮市 西郷 1-1-20
 1-1-20 Utsunomiya, Tochigi

TEL 024-623-2198
 FAX 024-623-2199
<http://www.pref.tchig.lg.jp>



日本語で記入して、いつも身につけてください
 Please fill out in Japanese and keep it with you.
 必ず日本語で、いつも携帯
 Please write in Japanese and always carry it

1. 氏名 Name 姓 Surname
 名 Name
 姓 Surname

2. 住所 Address 町 City
 番町 Posttown
 区 District

3. 国籍 Nationality 国 Country
 種別 Nationality

4. 緊急連絡先 Emergency Contact 緊急連絡先
 緊急連絡先
 緊急連絡先

5. 血液型 Blood type 種別 Blood type
 種別 Blood type

6. 国内の緊急連絡先 Emergency contact in Japan 緊急連絡先
 緊急連絡先
 緊急連絡先

7. 国外の緊急連絡先 Emergency contact abroad 緊急連絡先
 緊急連絡先
 緊急連絡先

8. 小児科の緊急連絡先 Pediatric Emergency Contact 小児科緊急連絡先
 小児科緊急連絡先
 小児科緊急連絡先

9. 近所の避難場所 Nearest Evacuation Place 緊急避難場所
 緊急避難場所
 緊急避難場所

日本語	English	中文	Português	Español
<p>1 地震について</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本は、地震が多い国です。 地震は突然起こります。 大きな揺れは、1分くらいで止まります。 大きな地震の後、何度も揺れ(余震)が続いてきます。 地震が起こると、家具が倒れたり、照明器具が落ちてきますので、注意が必要です。 水、電気、ガスが止まったり、電話やインターネットが通じにくくなります。 <p>2 地震が発生する前にできること</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難カードを、いつも身に付けておきましょう。 非常持出品(水、食料、懐中電灯、軍手、タオル、下着、パスポート・外国人登録証・保険証・現金通帳・自動車免許証等のコピー、避難所マップ等)をリュックサックに入れておきましょう。 近くの避難所を家族で確認しておきましょう。 防災訓練に参加してみましょう。 <p>3 地震が発生したら...</p> <p>(1) 身を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> 机やテーブルの下にかくれましょう。 家具や照明器具から離れましょう。 ガスのコンロやストーブ等の火を消しましょう。 ドアや窓を開けて、出口を作りましょう。 車を運転しているときは、左側に停めましょう。エンジンを止めて、鍵はつけておきましょう。 <p>(2) 避難するときは...</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな建物にいるときは、非常口に向かい、避難しましょう。 外は、ブロッカー、門、看板、建物の壁、ガラスが落ちてくる場合があるので、注意が必要です。 車は使わないようにしましょう。 非常持ち出し品を持参しましょう。 近くの避難所(食べ物、飲み物や情報があリ、誰が行ってもOK)に行きましょう。 	<p>1 Earthquakes:</p> <ul style="list-style-type: none"> Japan has many earthquakes. Earthquakes can come without warning. Large tremors will stop after about 1 minute. After large earthquakes, smaller tremors (aftershocks) will continue. When an earthquake strikes, be careful of falling furniture or light fixtures. Water, electricity, and gas stoppages may occur, and phones and internet may become difficult to use. <p>2 Preparations for before and earthquake strikes.</p> <ul style="list-style-type: none"> Make sure your evacuation card is handy. Prepare an emergency kit in a sack that includes water, food, flashlight, gloves, towel, underwear, a map to the evacuation area, and copies of your passport, foreign registration card, insurance card, bank book and driver's license. Confirm the location of the evacuation point with your family. Participate in disaster prevention drills. <p>3 In the event of an earthquake:</p> <p>(1) Protect yourself:</p> <ul style="list-style-type: none"> Hide under a table or desk. Get away from furniture and light fixtures that can fall. Turn off any stove and gas burners. Open a door or window to ensure you have an exit. If you are driving, pull off to the left-side of the road, turn off the engine, and leave the key in the ignition. <p>(2) During evacuation:</p> <ul style="list-style-type: none"> If you are in a large building, head towards the emergency exits and evacuate the building. There is a chance that block-walls, gates, billboards and building walls will fall, so be careful. Avoid using a car. Take emergency supplies with you. Go to the nearest evacuation point, a place that will have food, drinks and information, and everyone is welcome. 	<p>1 关于地震</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本是地震多的国家。 地震是突然发生。 大的摇晃大约于1分钟后停止。 大地震发生后,余震会继续发生。 地震发生时,会发生家具倒下及照明器具掉落的情况,必须注意。 水、电、煤气会不通,电话及网络会难以使用。 <p>2 地震发生前能够做的事情</p> <ul style="list-style-type: none"> 请一直随身携带避难卡。 请预先在旅行包内放入非常时的携带品(水、食物、手电筒、劳动手套、毛巾、内衣、护照、外国人登记证、保险证、存折、汽车驾驶证等的复印件、避难场所地图等)。 请和家人预先确认附近的避难场所。 请尝试参加防灾训练。 <p>3 一旦地震发生时</p> <p>(1) 保护自身安全</p> <ul style="list-style-type: none"> 躲在桌下。 请远离家具和照明器具。 请熄灭煤气炉及取暖炉的火。 请打开门窗,形成出口。 正在开车时,请停在左侧,关闭引擎,钥匙继续挂着。 <p>(2) 避难时</p> <ul style="list-style-type: none"> 在大建筑物里时,请向着非常出口,进行避难。 在外侧时,围墙墙壁、门、招牌板、建筑物的墙壁、玻璃有掉落的可能,必须注意。 请不要使用车辆。 请携带非常时期的随身携带品。 请前往附近的避难场所(有食物、饮料及信息、谁都可以进入)。 	<p>1 Terremoto</p> <ul style="list-style-type: none"> O Japão é um país que frequentemente ocorre terremotos. QOs terremotos ocorrem repentinamente. Os grandes abalos duram em torno de 1 minuto. Após os grandes abalos ocorrem os abalos secundários por várias vezes. Tome cuidado com móveis, lustres e lâmpadas que podem cair com o terremoto. A água, luz e gás podem parar e dificilmente o telefone e a internet funcionarão. <p>2 Medidas preventivas</p> <ul style="list-style-type: none"> Mantenha sempre consigo este cartão de emergência. Deixe preparado uma mochila com produtos de primeira necessidade como, água, alimentos, lanternas, toalha, roupas de troca, cópia do passaporte, gajokujin torokusho, cartão do seguro saúde, caderneta do banco, carteira de motorista e o mapa do local de refúgio. Verifique antecipadamente junto com a família o local de refúgio mais perto. Participe de treinamentos para os casos de emergência. <p>3 Como agir em caso de terremoto</p> <p>(1) Proteja-se</p> <ul style="list-style-type: none"> Entre em baixo de mesas ou carteiras. Procure ficar longe de móveis, lustres e lâmpadas. Desligue gás e aquecedores. Abra portas e janelas para saída de emergência. Se estiver dirigindo, pare o carro no lado esquerdo, desligue o carro e deixe a chave na ignição. <p>(2) Refúgio-se</p> <ul style="list-style-type: none"> Se estiver dentro de prédios procure a saída de emergência. Locais de extremo perigo são: templos, celeiros, unives de vidro, prédios altos, pois paredes e cascos de vidros podem cair sobre você. Não utilize o carro para refúgio-se. Leve consigo a mochila com objetos de primeira necessidade. Dirija-se ao refúgio para abrigar-se! No abrigo terá alimentos, bebidas e informações úteis. Todos, sem exceção, poderão abrigar-se nesses locais! 	<p>1 Terremotos</p> <ul style="list-style-type: none"> Japón es un país donde frecuentemente ocurren terremotos. Los terremotos ocurren repentinamente. Los temblores duran alrededor de un minuto. Después de un terremoto grande, ocurren los temblores secundarios varias veces. Tenga cuidado con muebles, aparatos de alumbrado que pueden caerse por los temblores. El agua, luz, gas pueden pararse y el teléfono e internet difícilmente funcionarán. <p>2 Medidas preventivas</p> <ul style="list-style-type: none"> Lleve la libreta de emergencia siempre consigo. Tenga preparada una mochila con artículos de primera necesidad como: agua, alimentos, baterías, juegos de trabajo, toallas, ropa interior, fotocopias de pasaporte, gajokujin torokusho, tarjeta de seguro, libreta de banco, carné de conducir, y mapa del lugar de refugio. Confirme anticipadamente el lugar de refugio más cercano con su familia. Participe en entrenamientos para los casos de emergencia. <p>3 Como comportarse en caso de terremotos</p> <p>(1) Protegerse</p> <ul style="list-style-type: none"> Proteja-se debajo de un escritorio o mesa. Procure alejarse de los muebles y los aparatos de alumbrado. Apague el gas y la estufa. Abra la puerta y las ventanas para la salida de emergencia. Si está manejando, estacione el carro al lado izquierdo, pare el motor y deje la llave dentro del carro antes de refugiar-se. <p>(2) Para refugiarse</p> <ul style="list-style-type: none"> Si está dentro de un edificio grande, procure dirigirse a la salida de emergencia para refugiarse. Fuera de casa, tenga cuidado con muros de bloques de cemento, puertas, letreros, naves de vidrio que pueden caerse. No utilice el carro para refugiarse. Lleve consigo la mochila con artículos de primera necesidad. Diríjase al lugar de refugio para abrigarse donde tendrá alimentos, bebidas, e informaciones. Todos, sin excepción, podrán abrigarse.

日本語で記入して、いつも身につけておきましょう
Please fill out in Japanese and keep it with you.
请用日语填写,并随身携带
Preencha em português e mantenha sempre consigo
Rellene en japonés y llévela siempre consigo

氏名 Name Nome 姓名 Nombre completo

住所 Address Endereço 地址 Dirección

国籍 Nationality Nacionalidade 国籍 Nacionalidad

私の話せる言葉 Languages I can speak. 我能说的语言 Idiomas que domina 我能说的语言 Idiomas que domina

血液型 Blood-type Tipo de sangue 血型 Grupo sanguíneo

国内の緊急連絡先 Emergency contact in Japan 国内緊急联系人 Número de telefone do Japão para contato em casos de emergência Número de teléfono del Japón para contacto en casos de emergencia

国外の緊急連絡先 Emergency contact abroad 国外緊急联系人 Número de telefone de seu país para contato em casos de emergência Número de teléfono de su país para contacto en casos de emergencia

大使館の電話番号 Embassy Phone Number 大使館电话号码 Número de telefone do Consulado Número de teléfono del Consulado

近くの避難所 Nearest Evacuation Area 最近的避难场所 Local de refugio mais perto Lugar de refugio más cercano

■ 活動3－地震に 備えよう

(1)防災用品について 話しましょう

- ① どんな 防災用品を 見たことが ありますか。
- ② あなたが 使いたいと 思った 防災用品は 何ですか。

防災用品の写真
家具転倒防止

(2)防災袋について 話しましょう

- ① まわりの人に 防災袋を 用意しているか、防災袋の 中身について 聞いてみましょう。
- ② あなたの家の 防災袋に 何を 入れておきますか？

防災袋とその中身
の写真

(3) 消火器について話しましょう

① あなたの身の回りに消火器がありますか。どこにありますか。

消火器の写真



いえ
家：

かいしゃ
会社：

にほんごきょうしつ
日本語教室：

なか
まちの中：

② 消火器の使い方を確認しましょう。

かつどう じ しん たい けん
■ 活動4－地震体験

(1) 防災館ぼうさいかんに行いって、起震車きしんしゃの体験たいけんをしましょう。

(2) 地域ちいきの地震避難訓練じしんひなんくんれんに参加さんかしましょう。

きーふれーず
キーフレーズ

- ・ 地震じしんだ！
- ・ 助たすけて！
- ・ 逃にげて！
- ・ 急いそいで！
- ・ 大丈夫だいじょうぶ？ / 大丈夫だいじょうぶ
- ・ 窓まどをあけて！
- ・ ガスがすを止とめて！

◆ ^{さいがい}災害や ^{ひなん}避難に ^{かん}関する ^{ひょうげん}ことば・表現

- ・地震(じしん)
- ・震度(しんど)
- ・緊急地震速報(きんきゅうじしんそくほう)
- ・余震(よしん)
- ・避難(ひなん)
- ・避難場所(ひなんばしょ)
- ・避難所(ひなんじょ)
- ・津波(つなみ)

写真	写真	写真	写真
薬 (くすり)	水 (みず)	ラジオ	電池 (でんち)
写真	写真	写真	写真
マスク	懐中電灯(かい ちゅうでんとう)		乾パン (かんぱん)

- ・地震だ！(じしんだ！)
- ・助けて！(たすけて！)
- ・逃げて！(にげて！)
- ・急いで！(いそいで！)
- ・大丈夫？／大丈夫。(だいじょうぶ？／だいじょうぶ。)
- ・窓を開けて！(まどをあけて！)
- ・ガスを止めて！(がすをとめて！)

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (0501030)避難場所・方法を理解する・人に聞く
- (0502010)地震について理解する
- (0502020)身を守る(地震発生時)

教室活動の目標

- －地震の時に行動できるようにする。

教室活動のねらい

- －避難場所や避難方法の注意書きを読んで理解できる。(活動1, 活動2)
 - －身の守り方について説明を読んで理解できる。(活動1)
 - －地震に備えることができる。(活動2, 活動3, 活動4)
- 日本は地震が多い国です。地震の少ない国から来た人にとって、突然の地震はどんなものだと思いますか。災害はいつ何時やってくるか分かりません。万一のときも、自分は落ち着いて安心して対応できるんだという自信を持てるような場を作っていけるといいでしょう。学習者が地域の一員として安心して暮らしていけるよう、地域の地震の避難訓練、外国人向け防災教室などの日程と組み合わせて教室活動を展開するなどの工夫ができるとういでしょう。

活動前に確認しておくこと

- －学習者の居住地域や職場・学校の避難場所
- －近くの防災館の開館時間, 休館日, 交通
- －地域の防災訓練の日程
(外国人向け防災訓練や防災教室がある自治体もあります)

準備する素材

- －学習者の居住地域の自治体が発行している地震時の対応に関する多言語

情報

- 学習者の居住地の自治体が発行している避難場所に関するパンフレット
- 非常時用携帯カード(学習者の自治体のものがあればそれを利用, なければ他自治体のものを利用してよい。または, 自作する。)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・地震だ!(p.x)

- ・「イラスト・写真シート」(p.x)を見ながら, 学習者のこれまでの地震の体験について話をします。学習者がどう対応したか, どんな気持ちになったのか, 話を引き出していきましょう。ウォームアップでは, 地震の様子を報道しているテレビの映像を利用したり, 学習者が居住する地域の避難場所を示す看板の写真など, 地域に合った素材を使うこともいいでしょう。

< 問いかけ例 >

「あなたの国ではよく地震がありますか。」

「地震を体験したことがありますか。そのとき, どうしましたか。どんな気持ちになりましたか。」

体験・行動する

■活動シート

・活動1-地震のとき, どうする?(p.x)

- ・「活動1-地震のとき, どうする?」(p.x)は, 地震発生時の適切な行動を知る活動です。それぞれのイラストの行動が適切かどうか考えた後, 多言語情報をみて確認します。学習者が一人で考えてみてもいいですし, 協力者といっしょに考えてみてもいいでしょう。それぞれの行動の理由についても確認できると, よりいいでしょう。また, イラストに載っていない行動について話を発展させてもいいでしょう。適切な行動を知っていれば, 学習者は地震が起きたときもパニックにならず, 落ち着いて対応できる可能性が高くなるでしょう。

- ・ 地震に関する多言語情報は多くの自治体や団体で作成されています。自治体によって、情報量，提供形態などが異なりますので，学習者の居住地のもの以外でも学習者に合うものがあれば大いに活用しましょう。

多言語情報例

例1) 東京都 URL 入れる (日・韓・英・中)

- ・ 電車・バス・地下鉄に乗っているとき，地下街にいるときなど地震発生時にいる場所別に適切な対応が掲載されている。
- ・ パンフレットが PDF ファイルで提供されている。

例2) 滋賀県 URL 入れる (日・)

- ・ ～や～な (具体的に入れる) など情報が豊富で多岐にわたる。

例3) 文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』(日)p.173

体験・行動する

■活動シート

・活動2－非常用のカードを作ろう(p.xx～xx)

- ・ 非常時に携帯するカードを作成する活動です。カードには，学習者の個人情報や避難場所，連絡先などを記入しておきます。学習者の居住地の自治体が発行する非常用携帯カードがあれば，それを利用することができます。学習者の自治体で作成していない場合，他の自治体で作成したカードを利用することもできますし，学習者といっしょに自分たちで作ってみるのもいいでしょう。作成したら，小さく折りたたんで，普段から財布や手帳に入れておくようにしましょう。

多言語避難カード

例1) 財団法人栃木県国際交流協会 地震・災害時のための避難カード

URL を入れる (日・)

例2) 東京都生活文化スポーツ局 ヘルプカード(病気・緊急・地震・相談)

URL を入れる (日・英・韓・中)

- ・ 避難場所の記入については，学習者が住んでいる自治体が発行している避難場所のパンフレットを見ながら確認しましょう。一次的な避難所と広域避難所の両方がある地域もあります。事前にそれらを確認しておきましょう。避難場所を学習者が知らない場合は，実際にいっしょに歩いて避難経路を確認するといいいでしょう。
- ・ 学習者の状況に応じて記入項目を変更したり増やしたりしてもいいでしょう。

例)

- ・家族の緊急連絡先(会社や学校など)
- ・家族との緊急集合場所
- ・近所の人との連絡先
- ・持病・普段飲んでいる薬の名前
- ・かかりつけの病院名・病院の連絡先

体験・行動する

■活動シート

・活動3－地震に備えよう(p.x～x)

- ここでは、日常生活で地震にどんな備えができるのかを知ることを目的としています。
- －防災用品について
- ここでは、防災用品について話をします。防災用品の実物を持ってきて話をするといいいでしょう。ない場合は、写真でも構いません。学習者が見たことがあるか、使い方を知っているか、指導者や協力者の家ではどんなものを使っているか、学習者も使ってみたいかなど話を広げてみましょう。実際にホームセンターなどの防災用品売り場に行き、様々な器具を手にしてみるのもいいでしょう。
- －防災袋について
- ここでは防災袋について話をします。まず、「ことば・表現」の単語「薬」～「乾パン」(防災袋に入れておくものの単語)に慣れておくといいいでしょう。自宅に防災袋の備えの有無や中身について、協力者にインタビューをします。教材例には掲載していませんが、インタビュー時の記録用紙を作成しておくといいいでしょう。
- (表現例)
- 学習者：家に防災袋がありますか。
 - 学習者：防災袋の中に何が入れてありますか。
- インタビューをしたあと、自分なら防災袋にどんなものを入れておくかを考えて、記入します。
- －消火器について
- ここでは消火器について話をします。地震のあと火災が発生することがありますが、ここでは消火器を使った初期消火について話をします。自分の身の回りのどこに

消火器があるかを調べたり、使い方を確認したりします。街頭消火器の設置場所については、自治体のHPなどで紹介されています。また、自治体に問い合わせで聞いておくこともできます。（※街頭消火器は設置されていない自治体もあります。）

体験・行動する

■活動シート

・活動4－地震体験(p.x)

- ・ 「活動4－地震体験」の「(1)防災館に行って、起震車の体験をしましょう」(p.x)は、近くに防災館があれば、実際に地震車の体験をする活動です。
- ・ 「活動4－地震体験」の「(2)地域の地震避難訓練に参加しましょう。」(p.x)は、地域の地域防災訓練に参加する活動です。ぜひ訓練にいっしょに参加することを教室活動に組み込んでみましょう。地域で生活する一員という気持ちがあると、万一のときも安心です。
- ・ もし、防災訓練がなければ日本語教室として避難訓練を実施してみましょう。その際に必要になる表現を、確認しておきましょう。
- ・ 表現は、「地震だ」「助けて」などの基本的な表現のほか、沿岸部か山間部か、また都会なのか農村なのか、学習者が住んでいる状況によって避難するときに必要な表現が違うことがあります。

たとえば、沿岸部では「津波が来るから逃げて」「高台に逃げて」ということばが言える、または聞き取れることが大切となります。学習者と話をしながら、地震のときにどんな表現が必要になるかを話しながら、話題に出た表現を扱っていくことが大切でしょう。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・災害や被害に関することば・表現(p.x)

- ・ 「地震」～「津波」は地震災害に関して知っている役に立つことばです。「薬」～「乾パン」は防災袋に入れる代表的なものです。防災袋に入れるものを買う物に行ったときに困らないよう、これらのことばに慣れておくといいでしょう。「地震だ!」～「ガスを止めて!」は避難時によく使う表現です。
- ・ 「薬」～「乾パン」のことばは「活動3」の「(2)防災袋について話しましょう」(p.6)

で防災袋の活動をする前に、防災袋に入れるものの単語を確認しておくといいでしょう。

- ・ ゲームを取り入れて、ことばに慣れることもできます。下の例はカルタを応用したものです。「地震だ!」～「乾パン」の表現もカルタを応用し、聞いてわかるようにできるといいでしょう。

「薬」～「乾パン」のことばのゲーム例)

準備:防災袋に入れるものの絵カード

- ① 学習者数人でグループを作り、机の周りにすわります。
- ② 絵カードを机の上にばらばらに置きます。
- ③ 指導者が絵カードの単語を一つ言います。学習者は該当する単語カードをとりまます。一番早く取れた人がそのカードをもらいます。これを机の上のカードがなくなるまでやります。
- ④ 机の上のカードがなくなったら終わりです。一番カードをたくさん持っている人が勝ちです。

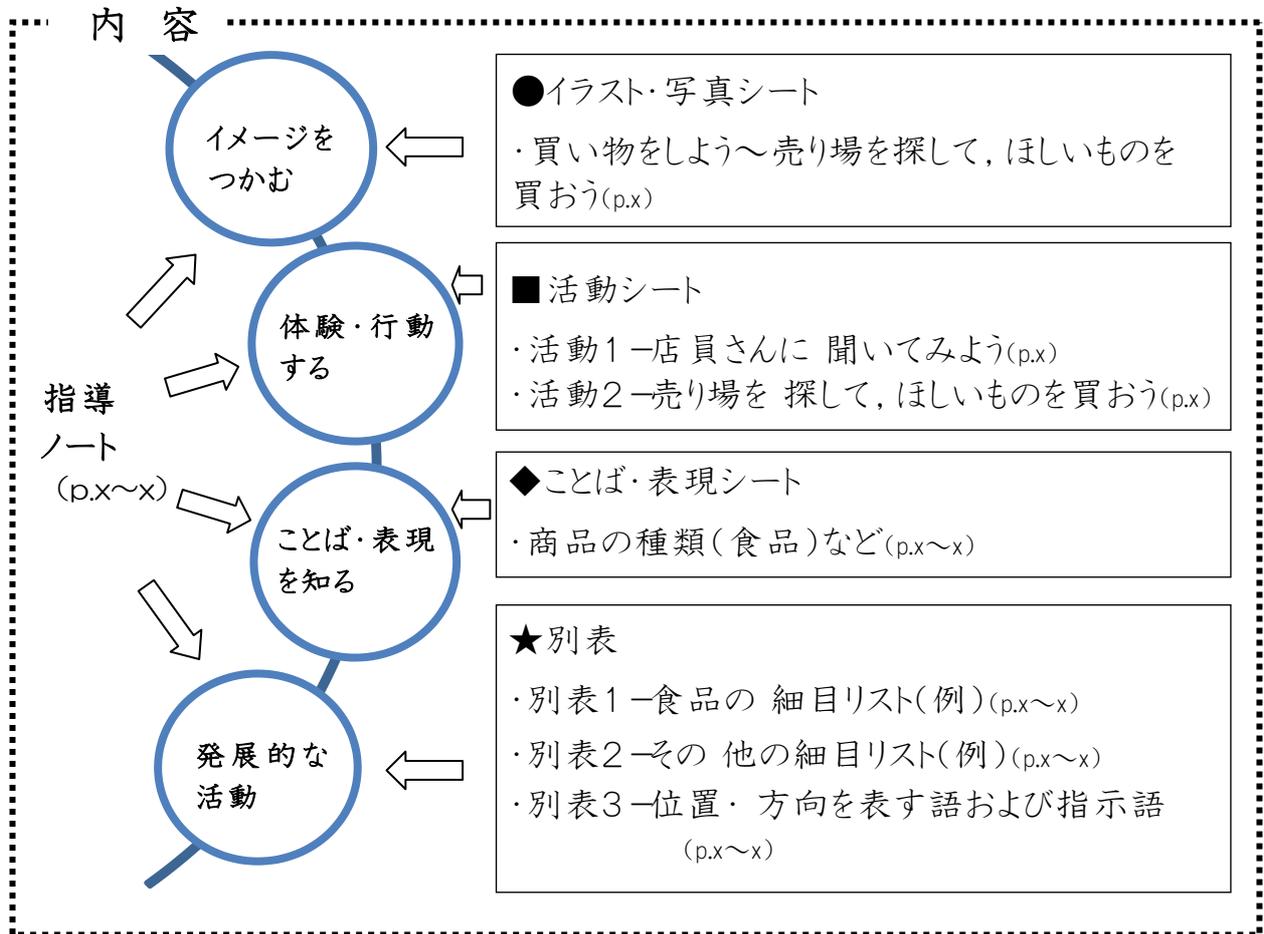
発展的な活動

- ・ 学習者の地震に関する知識やニーズによっては、より発展的な活動も考えられます。

例)

- ・ 災害伝言板の使い方を知る。
- ・ テレビやラジオのニュースから震度や津波の情報を得る。
- ・ 学習者の居住自治体の防災無線を聞いて、情報を聞き取る(「津波」「高台に逃げてください」「地すべり」「余震」など)。

ぶっぴん こうにゅう さーびす りょう
(05) 物品購入・サービスを利用する



取り上げる生活上の行為の事例

- (0801060)「店内の表示を見たり店員に尋ねてほしいものの場所を探す」
- (0801050)「デパート、スーパーマーケット、コンビニ、電器店、書店等で買物をする」
- (0801080)「売り場を尋ねる」

教室活動のねらい(○ページ参照)

- ・店内の表示をみたりして、店員に尋ねてほしいものの場所を探す

教室活動の目標(○ページ参照)

- ・買いたいものがどこにあるか聞くことができる
- ・商品名を言うことができる

● ^か ^{もの} 買い物をしよう

～ ^う ^ば ^{さが} 売り場を探して、 ^か ほしいものを 買おう

(写真)

大型スーパーの外観

(写真)

大型スーパーの店内の様子

奥行きがあって広々とした感じ

「〇〇売り場」のようなプレートが天井からぶら下がっているのも見える

(写真)

店内に陳列されている商品と価格表示

■ 活動1－店員さんに聞いてみよう

○ 「牛乳はどこですか」

学習者： あのう、すみません。

店員： はい。

学習者： ○○(牛乳)はどこですか。

店員： ○○(牛乳)は あちらです。

学習者： ああ、そうですか。どうも ありがとう。

○ 「すみません、みかんはありますか」

学習者： すみません、○○(りんご) ありますか。

店員： 申し訳ありません。今日は 売り切れてしまったんです。

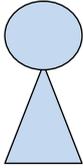
学習者： そうですか。じゃ、△△(みかん)は ありますか。

店員： こちらに ございます。

学習者： どうも。

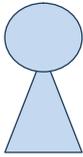
はな
ろーるぶれい
○ 話してみよう(ロールプレイ)

ろーるぶれい
・ロールプレイ ①



Aさん

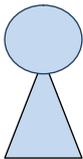
- 店員です。客の質問に答えてください。



Bさん

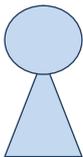
- ○○を 買いたいです。店員に ○○の 場所を 尋ねて、欲しいものを 探してください。

ろーるぶれい
・ロールプレイ ②



Aさん

- 店員です。○○は 売り切れました。△△は あります。客の質問に 答えてください。

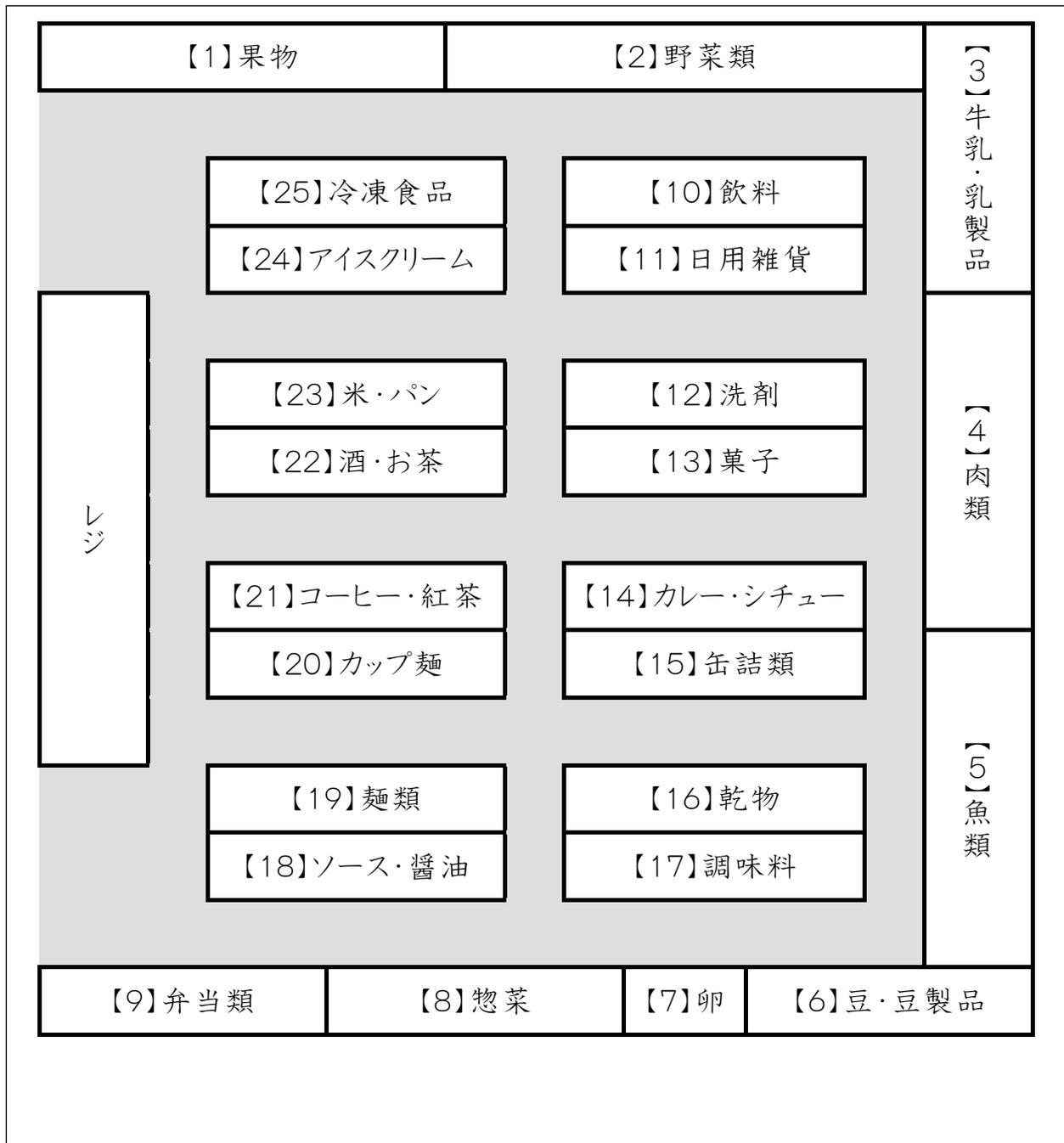


Bさん

- ○○を 買いたいです。お店に ○○が あるかどうか、店員に 尋ねてください。ない場合は、△△を 買いたいです。店員に △△の場所を 尋ねてください。

■ 活動2- 売^{かつ}り場^{どう}を 探^うして、ほ^ばしいもの^{さが}を 買^かおう

○ 「すみません、野菜^{やさい}は どこですか」



しょうひん しゅるい しょくひん
 ◆ 商品の種類(食品)など

※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト
果物 (くだもの)	野菜 (やさい)	肉 (にく)	魚 (さかな)	卵 (たまご)

※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト
豆腐 (とうふ)	米 (こめ)	パン (ぱん)	麺 (めん)	牛乳 (ぎゅうにゅう)

※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト
ジュース (じゅーす)	お茶 (おちゃ)	コーヒー (こーひー)	酒 (さけ)	調味料 (ちょうみりょう)

※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト
缶詰 (かんづめ)	冷凍食品 (れいとうしょくひん)	惣菜 (そうざい)	弁当 (べんとう)	レジ (れじ)

べっぴょう しょくひん さいもくりすと れい
 ★ 別表1 食品の細目リスト(例)

くだもの かこうひん
果物・加工品

いちご
 おれんじ
 オレンジ
 かき
 きうい
 キウイ
 くり
 さくらんぼ
 すいか
 なし
 ばいナップる
 パイナップル
 ばなな
 バナナ
 びわ
 ぶどう
 みかん
 めろん
 メロン
 もも
 らいち
 ライチ
 りんご
 れもん
 レモン
 じゃむ
 ジャム

やさい
野菜

えだまめ
 えんどう
 かぶ
 かぼちゃ
 かりふらわー
 カリフラワー
 きくらげ

きぬさや
 きゃべつ
 キャベツ
 きゅうり
 こまつな
 さつまいも
 さといも
 しいたけ
 じゃがいも
 しょうが
 せろり
 セロリ
 だいこん
 たけのこ
 たまねぎ
 ちんげんさい
 チンゲンサイ
 とうがらし
 とうがん
 とうもろこし
 とまと
 トマト
 なす
 にんじん
 にんにく
 ニンニク
 ねぎ
 はくさい
 びーまん
 ピーマン
 ぶろっこりー
 ブロッコリー
 ほうれんそう
 もやし
 れたす
 レタス
 れんこん

にく かこうひん
肉・加工品

ぎゅうにく
 牛肉
 とりにく
 鶏肉
 ぶたにく
 豚肉
 らむにく
 ラム肉
 そーせーじ
 ソーセージ
 はむ
 ハム
 べーこん
 ベーコン

ぎょかいりい かいさんぶつ
魚介類・海産物

あじ
 いわし
 かつお
 かれい
 こい
 さけノしゃけ
 さば
 さんま
 たい
 たら
 まぐろ
 いか
 えび
 かに
 たこ
 さしみ
 刺身
 あさり
 しじみ

はまぐり
こんぶ
昆布
のり
わかめ

こくもつ か こうひん
穀物・加工品

あずき
小豆
こめ
米
だいず
大豆
ピーナッツ
らっかせい
落花生
かたくりこ
片栗粉
こむぎこ
小麦粉
とうふ
豆腐
パン
うどん
スパゲッティ
そば
はるさめ
春雨
ビーフン
ラーメン

の もの さけ
飲み物・酒

うーろん茶
お茶
こうちゃ
紅茶
じゃすみんちゃ
ジャスミン茶
りよくちゃ
緑茶

ぎゅうにゅう みるく
牛乳／ミルク
こーひー
コーヒー
こーら
コーラ
じゅーす
ジュース
ういききー
ウイスキー
しょうこうしゅ
紹興酒
しょうちゅう
焼酎
にほんしゅ
日本酒
びーる
ビール
わいん
ワイン

ちょうみりょう
調味料・香辛料

あぶら
油
あぶら
ごま油
さらだあぶら
サラダ油
ばたー
バター
まーがりん
マーガリン
らーど
ラード
あじ もと
味の素
さとう
砂糖
しお
塩
しょうゆ
醤油
す
酢
みそ
味噌
からし
からし
こしょう
胡椒

さんしょう
山椒
はっかく
八角
おいすたーそーす
オイスターソース
けちやっぷ
ケチャップ
そーす
ソース
ちりそーす
チリソース
まよねーず
マヨネーズ
じゅうそう
重曹
どらいーすと
ドライイースト

かし にゅうせいひん
菓子・乳製品

あめ きゃんていー
飴・キャンディー
がむ
ガム
くっきー
クッキー
せんべい
せんべい
ちょこれーと
チョコレート
びすけっと
ビスケット
ほてとちっぷ
ポテトチップ
だんご
だんご
まんじゅう
まんじゅう
ようかん
ようかん
あいすくりーむ
アイスクリーム
けーき
ケーキ
そふとくりーむ
ソフトクリーム
ちーず
チーズ
よーぐると
ヨーグルト

★ 別表2 その他の細目リスト(例)

電気製品

れいぞうこ
冷蔵庫
せんたくき
洗濯機
かんそうき
乾燥機
そうじき
掃除機
しょつきあらいき
食器洗い機
すいはんじゃー
炊飯ジャー
でんきゆわほっと
電気湯沸かしポット
おーぶんれんじ
オーブンレンジ
でんしれんじ
電子レンジ
とーすたー
トースター
ほっとぶれーと
ホットプレート
みきさー
ミキサー
じゅーさー
ジュースー
えあこん
エアコン
くーらー
クーラー
せんふうき
扇風機
かしつき
加湿器
じょしつき
除湿機
すとーぶ
ストーブ
ひーたー
ヒーター
でんき
電気こたつ
でんきかーべつと
電気カーペット
でんきもうふ
電気毛布
ふとんかんそうき
布団乾燥機

てれび
テレビ
びでおでつき
ビデオデッキ
びでおかめら
ビデオカメラ
でじたるかめら
デジタルカメラ
でいぶいでいぶれーやー
DVDプレーヤー
しーでいーらじかせ
CDラジカセ
らじお
ラジオ
うおーくまん
ウォークマン
あいぽど
iPod
おーでいお
オーディオ
ばそこん
パソコン
けいたいでんわ
携帯電話
ふあつくす
ファックス
どらいやー
ドライヤー
へあーあいろん
ヘアーアイロン
しゅーばー
シェーバー
でんどうはぶらし
電動歯ブラシ
じょうすいき
浄水器
くうきせいじょうき
空気清浄器
けいこうとう
蛍光灯
こんせんと
コンセント
でんち
電池

衣類・装飾品・靴

すーつ
スーツ

つーびーす
ツーピース
わんびーす
ワンピース
すかーと
スカート
ずぼん
ズボン
ばんつ
パンツ
じーんず
ジーンズ
わいしゃつ
ワイシャツ
ぶらうす
ブラウス
こーと
コート
おーばー
オーバー
じゃんばー
ジャンパー
かーでいがん
カーディガン
ちょっきべすと
チョッキ/ベスト
ぶれざー
ブレザー
せーたー
セーター
とれーなー
トレーナー
ていしゃつ
Tシャツ
きもの
着物
ちやいなどれす
チャイナドレス
ねまきばじゃま
寝間着/パジャマ
ずぼんしたももひき
ズボン下/股引
らんになんぐ
ランニング
ぶりーふ
ブリーフ
ぶらじゃー
ブラジャー
すりっふ
スリッパ

ぺちこーと
ペチコート
ぼんていー
パンティー
すどっきんぐ
ストッキング
くつした そっくす
靴下 / ソックス
あさ
麻
もめん
木綿
こっどん
コットン
うーる
ウール
ほりうれたん
ポリウレタン
ほりえすてる
ポリエステル
れーよん
レーヨン
あくりる
アクリル
しるく きぬ
シルク / 絹
あんごら
アンゴラ
かしみや
カシミア
びろーど
ビロード
れざー
レザー
ないろん
ナイロン
にと
ニット
でにお
デニム
れーす
レース
べると
ベルト
ぼうし
帽子
べれーぼう
ベレー帽
さんぐらす
サングラス
ねくたい
ネクタイ
すかーふ
スカーフ
まふらー
マフラー

りほん
リボン
いやりんぐ
イヤリング
ねっくれす
ネックレス
ぶろーち
ブローチ
べんだんと
ペンダント
ほけっと
ポケット
ほたん
ボタン
ふあすなー じっばー
ファスナー / ジッパー /
ちゃっく
チャック
うんどうぐつ
運動靴
すにーかー
スニーカー
ながぐつ
長靴
ぶーつ
ブーツ
さんだる
サンダル
すりっぱ
スリッパ
はいひーる
ハイヒール
げた
下駄

にちようひん ざっか
日用品・雑貨

ほうちよう
包丁
いた
まな板
がすほんべ
ガスボンベ
ふらいばん
フライパン
あるみ
アルミ
らっぷ
ラップ
さら
皿
ちゃわん
茶碗
はし
箸

すぶーん
スプーン
ふおーく
フォーク
ないふ
ナイフ
こっぷ
コップ
おたま
めんぼう
綿棒
つまようじ
つめき
爪切り
はいざら
灰皿
といれっとペーパ
トイレットペーパー
たおる
タオル
て
手ぬぐい
かがみ
鏡
はぶらし
歯ブラシ
はみがこ
歯磨き粉
さっちゅうざい
殺虫剤
ふうとう
封筒
ぼーるペン
ボールペン
のり
はさみ
めがね
メガネ
そふあー
ソファ
いす
椅子
かさ
傘
さいふ
財布
かばん
カバン
たばこ
らいたー
ライター
めざ とけい
目覚まし時計

★ 別表3 位置・方向を表す語 および 指示語

い ち ほうこう
位置・方向

うえ
上
した
下
ひだり
左
みぎ
右
まえ
前
うし
後ろ
むかひ
向かい
むかひ
向こう
うちがわ
内側
そとがわ
外側
なか
中
あいだ
間
うら
裏
よこ
横

となり
隣
そば
まなか
真ん中
おく
奥
まっすぐ
つあ
突きあたり
かど
角
～から～番目
いちばん
一番
～かい
～階
ちか
地下
おくじょう
屋上
ひがし
東
にし
西
みなみ
南
きた
北

し じ じ
指示詞

これ
それ
あれ
どれ
この…
その…
あの…
どの…
ここ
そこ
あそこ
どこ
こちら/こっち
そちら/そっち
あちら/あっち
どちら/どっち

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0801060)「店内の表示を見たり店員に尋ねて欲しいものの場所を探す」

(0801050)「デパート, スーパーマーケット, コンビニ, 電器店, 書店等
で買物をする」

(0801080)「売り場を尋ねる」

教室活動の目標

－店内の表示を見たりして, 店員に尋ねて欲しいものの場所を探す

教室活動のねらい

－買いたい物がどこにあるか聞くことができる商品名を言うことができる

- ・ 買い物は, 日本で生活していく上で避けて通れない行為の一つでしょう。学習者によってニーズや興味・関心は様々かもしれませんが, 食料品など日常生活に不可欠な物品の購入は誰もが経験するはずでです。あまり行き慣れていない商店に行ったり, 買い慣れていない商品を買ったりする場合には, 欲しいものが店内のどこにあるか, すぐに分からないことも多いのではないのでしょうか。ここでは, その探し方を練習してみましょう。

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・ 買い物をしよう ～売り場を探して, ほしいものを買おう (p. xx)

- ・ 最初に「イラスト・写真 ～売り場を探して, ほしいものを買おう～」(p.xx)を学習者と一緒に見ながら, 日本語または学習者の母語などで, 以下のようなやり取りを試みましょう。

例)

「これは何ですか。ここで何をしますか。(地域の)どこにありますか。」

「よく買い物をしますか。家族の中では誰が買い物をしますか。いつもどこで買い物をしますか。何を買いますか。高いですか, 安いですか。」

「買い物のとき, 日本語を使いますか。また, 店員の日本語はわかりますか。」

「買いたい物がお店の中のどこにあるか, すぐにわかりますか。売り場がわからないときは, どうしますか。」

「買いたい物がお店にないときは, どうしますか。」

- ・ このようなやり取りを通じて, 学習者が日常生活の中でどのような買い物をしているか, またその実際場面で日本語をどの程度理解または使用しているかについて把握できるでしょう。学習者自身のスキーマ(schema)が活性化されるだけでなく, 指導者が今後の活動展開を考えていく上で, きっと役に立つはずです。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－店員さんに聞いてみよう(p.xx～xx)

- ・ 「活動1～ロールプレイ～」の「会話例(1)」「会話例(2)」を使ってキーフレーズを確認し, 学習者の日本語レベルや地域の状況などに応じて適宜アレンジした上で, ロールプレイを行います。
- ・ 会話ではキーフレーズに限らず, 買い物場面でよく使われる表現を取り上げてください。学習者の日本語レベルに応じ, 「これだけ言えれば, 何とか必要なものを探ることができる」, 「これが言えれば, スムーズに必要なものを探ることができる」, 「これが言えれば, 他の商品と比較等を行いながら必要なものを探す(選ぶ)ことができる」というように, 取り上げる表現を工夫しましょう。
- ・ 学習者がよく耳にするけれども十分に理解できない表現などを取り扱ってもよいでしょう。必要に応じて, 「別表3 位置・方向を表す語および指示語」(p.x)なども参照してください。
- ・ ロールプレイに際しては, 「ことば・表現シート」(p.x)にある写真・イラストをコピーして切り離し, それをキューとする方法もあります。そうすることで, 語彙表現の確認・定着練習にもなります。

体験・行動する

■活動2

・売り場を探して、ほしいものを買おう(p.x)

- ・「活動2～スキャンニング～」(p.x)の「○店内見取り図」は、さまざまなスキャンニングに使えます。音声または文字で提示された食品の分類や細目が何番の売り場にあるか答えたり、反対に売り場の番号から食品の分類や細目を答えたりすることが可能です。あるいは「活動1～ロールプレイ～」と組み合わせて店員役がスキャンニングを行い、ロールプレイの会話内容に反映させるというやや高度な活動もできるはずです。
- ・食品の分類が導入済みであれば、工夫次第で細目語彙の紹介(導入)や定着(復習)にも使えるでしょう。

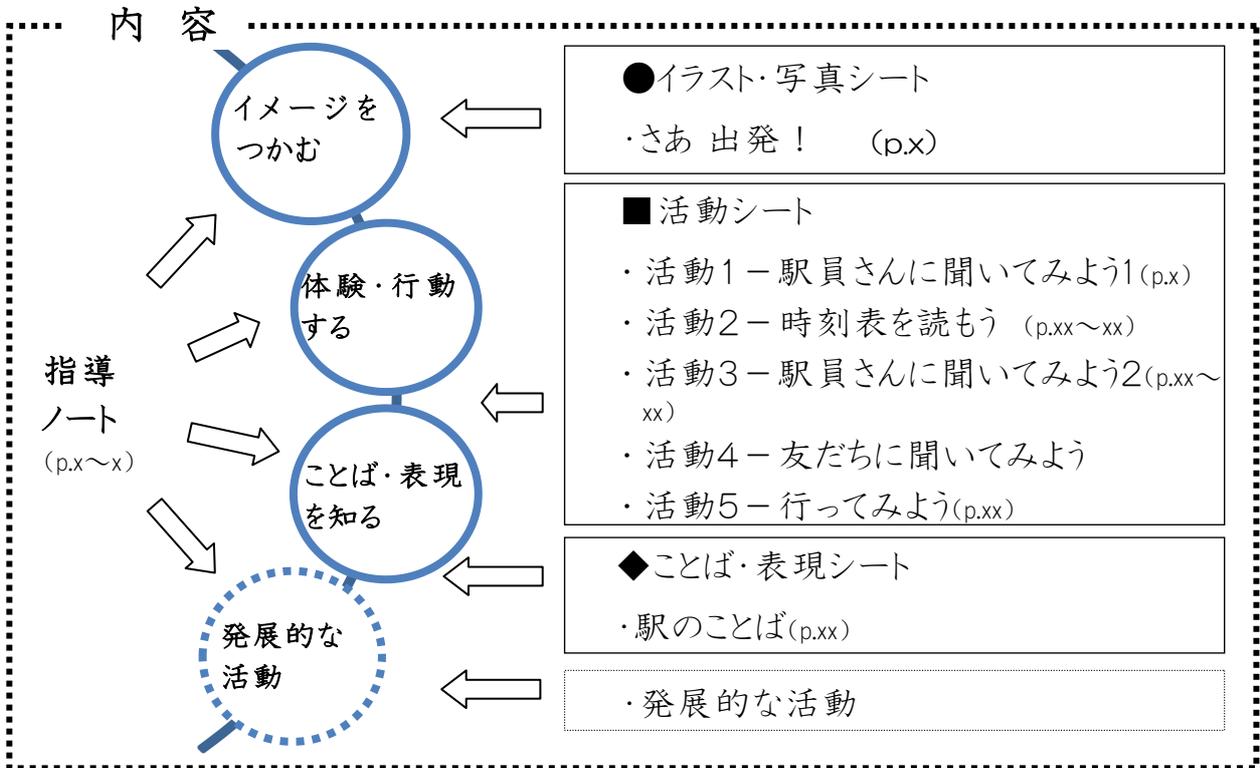
ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・商品の種類(食品)など(p.x)

- ・「ことば・表現」(p.x)は、学習者が実際の買い物場面などでよく目にする基礎的な単語を並べてあります。次ページ以降の「活動1～ロールプレイ～」や「活動2～スキャンニング～」を行う前に、読みと意味を確認するとよいでしょう。
- ・ここでは学習者に最も身近と思われる「食品」の分類を中心とした単語を取り扱っていますが、学習者の使える語彙量や関心の度合いによっては、「別表1 食品の細目リスト(例)」(p.x～x)、「別表2 その他の細目リスト(例)」(p.x～x)にある単語などを確認しておくのも一つの方法です。

でんしゃ ばす ひこうき ふねとう りょう
(10) 電車, バス, 飛行機, 船等を利用する



取り上げる生活上の行為の事例

(1001020)「発車する時刻や掛かる時間を尋ねる」

(1002060)「目的地への行き方を尋ねる」

教室活動の目標(○ページ参照)

・公共の交通機関(電車, バス, 飛行機, 船等)を利用して, 目的地に行くことができるようになる

教室活動のねらい(○ページ参照)

- ・目的地へ行く交通機関の発車時刻や所要時間を聞くことができる
- ・時間や発車時刻を理解することができる
- ・駅名, 行き先などの駅の表示が理解できる
- ・目的地への行き方を質問することができる
- ・目的地への行き方の説明を理解することができる
- ・目的地への行き方を説明することができる

● さあ ^{しゅっぱつ} 出発！

(A)



(B)



■ 活動1－駅員さんに聞いてみよう 1

(1) 会話例

Aさん： すみません。〇〇行きは、何時に 出ますか。

駅員： 3時20分に 出ます。

Aさん： 何番線 ですか。

駅員： あ、5番線 ですよ。

Aさん： そうですか。〇〇まで、どれくらい かかりますか。

駅員： 45分くらい です。

(2) 発話練習

Aさん



駅員さんに あなたの 乗りたい電車に
ついて 聞いてください。

Aさんの 質問に 答えてください。

■ 活動2－時刻表を 読もう

(1)バスの時刻表を見て、質問に答えてください。

	平日										土曜・日祝									
	中田町駅										中田町駅									
6	35	49									33	48								
7	00	10	20	27	34	41	48	54			03	11	19	27	35	43	51	59		
8	00	06	12	18	24	30	36	42	48	54	07	15	23	31	39	47	55			
9	00	06	12	19	26	33	40	47	54		03	11	19	28	36	44	52			
10	01	08	15	24	33	42	53				00	08	16	24	32	42	52			
11	04	14	26	37	47	57					02	12	22	32	42	52				
12	07	17	27	37	47	57					02	12	22	32	42	52				
13	07	18	29	40	51						02	12	22	32	42	52				
14	02	13	24	35	46	57					02	12	22	32	42	52				
15	08	20	30	41	52						02	12	22	32	42	52				
16	03	13	23	31	39	47	54				02	12	22	32	42	52				
17	01	08	16	23	31	38	45	52	59		02	12	20	28	36	44	52	59		
18	06	13	20	27	34	42	50	58			07	15	23	31	39	47	55			
19	05	14	24	34	44	54					03	11	23	35	48	59				
20	04	14	24	34	44	54					13	26	39	53						
21	04	14	25	37	49						06	21	36	56						
22	02	12	25	38	54						16	36	56							
23	07	20																		

- ① 土曜日の始発は何時ですか。
- ② 平日の最終バスは何時ですか。
- ③ 土曜の昼のバスは何分おきに来ますか。
- ④ 平日にバスが一番たくさん来るのは何時台ですか。
- ⑤ 日曜日、あなたはバス停に10時10分に着きました。何時のバスに乘れますか。

(2) ^{じっさい}実際の ^{じこくひょう}時刻表を ^み見ながら, ^{とも}友だち, または ^{にほんじん}日本人と ^{しつもん}質問しあいまし
よう。

■ 活動3－駅員さんに 聞いてみよう 2

(1) 会話例

Aさん： すみません。 ○○へ 行きたいんですけど、どうやって 行ったら
いいですか。

駅員： ○○ですか。この電車に 乗って、新宿で、丸の内線に 乗りか
えてください。3つ目の 駅です。

(2) 発話練習

☆ここは 駅の プラットホームです。 駅員さんに 声を かけて、聞いてくださ
い。

Aさん



行きたい駅までの 行き方を、駅員さ
んを 呼びとめて、聞いてください。

Aさんの 質問に 答えてください。

Aさんの 発話を 十分に 練習したあと、体を 動かして 練習してみましょ
う。駅員さん役を ひとり 決めて、あとの人は Aさん(聞く人)役に なってくだ
さい。駅員さんを 呼びとめて、順番に 聞いてください。

■ ^{かつ どう} ^{とも} ^き 活動4－友だちに 聞いてみよう

(1) ^{とも} ^い ^{かた} ^き 友だちに 行き方を 聞いてください。

Aさん

^{とも} ^{いえ} ^{しごとば}
友だちの 家や 仕事場につい
^い ^{かた} ^き
て 行き方を 聞いてください。



Bさん

^{えき} ^{えき} ^い
駅から 駅まで どうやって 行く
^{せつめい}
か 説明してください。

(2) ^い ^い ^{かた} ^き ^{めも} あなたは どこに 行ってみたい ですか。行き方を 聞いて メモしてください。

^い
行きたいところ []

^い
行きたいところ []

■ 活動5—行ってみよう

(1) 路線図を見て話しましょう。

- ① 大きな駅や 乗り換えの 駅名を 漢字で 読んでみましょう。
- ② 乗り換えて いく 駅までの 行き方を 考えてみましょう。
- どんな 行き方が ありますか。いくつでも 考えてください。
 - どうやって いけば 一番早い ですか。
 - 一番 安い 行き方は どれですか。

(2) あなたの おすすめの 場所を 紹介してください。

もよりの 駅は どこ ですか。どうやって いきますか。

おすすめ <small>の</small> 場所	もよりの 駅	行き方

◆ ^{えき} 駅のことば

※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト
駅 (えき)	改札口 (かいさつぐち)	プラットホーム (ぷらっとほーむ)	切符 (きっぷ)	運転手 (うんでんしゅ)

※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト
新幹線 (しんかんせん)	始発 (しはつ)	終点 (しゅうてん)	最終 (さいしゅう)	～番線 (～ばんせん)

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(1001020)「発車する時刻や掛かる時間を尋ねる」

(1002060)「目的地への行き方を尋ねる」

- 外国で交通機関を使って初めての場所に行くときは、目的地に着くまで不安なものです。そんな学習者が、途中でわからなくなったら自分から誰かに尋ね、さらにその先に進んでいけるような力がつけば行動範囲も広がることでしょう。できるだけ学習者の生活圏に沿った交通機関を取り上げ、もよりの交通機関の時刻表や路線図なども用意して、学習者と一緒に出かけるつもりでスタートしてみませんか。
- ここでは(1001020)「発車する時刻や掛かる時間を尋ねる」と(1002060)「目的地への行き方を尋ねる」の教室活動の展開例を、それぞれ示しました。活動1と2、活動3～5というまとまりで展開をするように示しましたが、活動1から5まで連続性があり、最後の活動5は全体の仕上げとなります。

(1001020)「発車する時刻や掛かる時間を尋ねる」

教室活動の目標

- －公共の交通機関(電車、バス、飛行機、船等)を利用して、目的地に行くことができるようになる

教室活動のねらい

- －目的地へ行く交通機関の発車時刻や所要時間を聞くことができる(活動1)
- －時間や発車時刻を理解することができる(活動1)
- －駅名、行き先などの駅の表示が理解できる(活動2)

活動前に確認しておくこと

- －学習者の生活圏における交通機関の状況
- －時刻表や路線図の入手方法に関する情報

準備する素材

- －学習者の生活圏における交通機関の案内図・路線図

- 時刻表(駅やバス案内所に置いてあるもの, ネットでダウンロードできるもの等)
- 乗り物の写真・絵が掲載されている本

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・さあ 出発!(p.x)

- ・ 「イラスト・写真シート」(p.x)の(A)を見せて, 写真がどんな場所か, またどこに行くときに, このような場所に行ったかなど話してもらいます。それぞれの学習者の発言を受け止めて, 思い出を共有することから始めると, 楽しくスタートできるかもしれません。また写真にあるような電光掲示板には何が書いてあるか, 電車のホームは「～番線」で示されることなど, ここで確認しておきましょう。ここでは電車とバスを取り上げています。

< 問いかけ例 >

- 「ここ(A)はどこでしょう。この(電光掲示板の)下には何があるでしょうか。」
- 「これには何が書いてありますか。」
- 「あなたがよく使う乗り物は何ですか。どこからどこまで乗りますか。」
- 「時間はどのくらいかかりますか。」
- 「電車やバスに乗るとき, わからないことがありましたか。そのときどうしましたか。」

- ・ ゼロ初級の学習者には, ここで覚えてほしい「駅」「改札口」「時刻」など基本的な単語を提示しながら質問の簡単な答えを引き出し, ここで何を勉強するか理解してもらいましょう。「(場所)から(場所)まで」「(～時間/～分)かかる」などの表現は, 日常的に出てくるので, ここで使えるようにしておくとい良いでしょう。
- ・ 少し話せる学習者であれば, 日本と自国との違い(発着時刻の正確さ, ホームでの電車の待ち方)などを話してもらうとおもしろいかもしれません。最後に, 乗りたい電車がわからなかったときどうしたか, 自分ならどうするか, など話し合ってみましょう。外国に行かれた支援者の方々の体験談なども交えて進めると発話が活発になるかもしれません。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－駅員さんに聞いてみよう1(p.x)

<会話例>

- ・ここでは、発車時刻、何番線か、目的地までどのくらい時間がかかるかを聞く基本パターンが示してあります。「何時に出ますか」「何番線ですか」「どのくらいかかりますか」の表現が聞きたいときにすぐ出てくると便利です。ここでは上記3つの情報が盛り込んでありますが、ゼロ初級の学習者には、ひとつずつ別々に聞くやりとりで練習してはいかがでしょうか。

<発話練習>

- ・学習者にAさんになってもらい、はじめは指導者または支援者が駅員になって、繰り返しやりとりを行ってください。その際、会話例から少しはなれた受け答えも入れていくと実際の場面とまどうことが少なくなるかもしれません。慣れてきたら、学習者同士ペアで練習してみるとよいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－時刻表を読もう(p.x)

- ・国によっては、時刻表の見方に馴染みのない学習者もいることでしょう。ここに示した時刻表を見ながら読みとり方を理解してもらいます。
- ・「始発」「最終」「終点」「～分おき」「～時台」は交通機関を利用するときによく使われることばです。ここではその意味が理解できるようにしておきましょう。活動シートにある質問のほかにも、この時刻表を見ながら、自由に質問をしてみてください。
- ・電車の駅やバスの案内所で、小型の時刻表がもらえます。地域の列車やバスの時刻表を人数分用意しておき、それを使って上記のような質問をしてみてください。実際の情報を扱うことで、生活に役立ち、学習意欲も増すのではないのでしょうか。

多言語情報例

例1)文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

p.73「交通機関～乗りこなして行動範囲を広げよう～」

(1002060)「目的地への行き方を尋ねる」

教室活動の目標

- －公共の交通機関(電車, バス, 飛行機, 船等)を利用して, 目的地に行くことができるようになる

教室活動のねらい

- －目的地への行き方を質問することができる(活動3, 活動4)
- －目的地への行き方の説明を理解することができる(活動3, 活動4)
- －目的地への行き方を説明することができる(活動4, 活動5)
- －駅名, 行き先などの駅の表示が理解できる(活動5)

活動前に確認しておくこと

- －学習者の生活圏における交通機関の状況
- －時刻表や路線図の入手方法に関する情報

準備する素材

- －学習者の生活圏における交通機関の案内図・路線図
- －時刻表(駅やバス案内所に置いてあるもの, ネットでダウンロードできるもの等)
- －身近な交通機関で用いるICカード(Suica, ICOCA 等), 回数券等

イメージをつかむ

- イラスト・写真
- ・さあ 出発!(p.x)

- ・「イラスト・写真シート」(p.x)の(B)を見せて, 学習者にまずどんな場面か推測してもらい, 「乗車券」「券売機」「路線図」などのことばを提示していきましょう。身近な交通機関の路線図を用意し, 見方もここで確認しておいてください。同時に, 切符の買い方やカード乗車券(Suica, ICOCA 等)の使い方を確認したり, 説明したりしておくといよいでしょう。また, 「～で電車(バス)を降りる」「～で電車(バス)に乗る」「～で乗りかえる」などの言い方にここで慣れてもらいます。

もよりの駅から指導者や支援者の自宅までの経路, あるいは学習者に有用な場所までの経路を例にとってまず示してあげるとよいでしょう。「～で～線に乗る」「～で～線に乗って～で乗りかえる」などの言い方もよく使われるので, レベルに応

じて練習してください。初心者も聞いて理解できるようにしておくといでしょう。

< 問いかけ例 >

「ここはどこですか。何がありますか。」

「このふたりの人は、何をしていますか。」

「あなたの職場や友だちの家はどこにありますか。電車やバスで行きますか。どこ(駅の名前)で電車(バス)に乗りますか。」

「どこで電車をおりますか。」

「乗り換えがありますか。どこで、何に乗り換えますか。」

「駅やバス停で、駅員さんや運転手さんに何か聞いたことがありますか。」

体験・行動する

■ 活動シート

・活動3－駅員さんに聞いてみよう2(p.x)

< 会話例 >

- ・ ここでは基本的に、「目的地への行き方を質問することができる」「目的地への行き方の説明を理解することができる」ことを目的としています。生活圏内の交通機関に置き換えて、練習してみるとよいでしょう。学習者の日本語レベルに応じて、表現は適宜変えてください。

< 発話練習 >

- ・ はじめにAさん役を学習者、駅員役を指導者が担当し、はじめは路線図を示して、学習者に視覚的に経路を確認してもらいながらやりとりしてはどうでしょうか。駅員の発話は必ずしもこのパターンだけではなく、少しずつ変えて聞かせるのもいいでしょう。初心者ではない学習者の場合は、駅員役にチャレンジしてもらってもいいかもしれません。「～で電車を降りる」「～で電車に乗る」「～で乗りかえる」の表現がスムーズに出てくるようになれば、話題が広がります。
- ・ 路線図は、実際の路線図を拡大したものほかに、学習者によっては、ローマ字表記も添えた路線図を作成しておくとう理解しやすいでしょう。
- ・ プラットホームの写真(インターネットや乗り物絵本から)を拡大コピーして貼ったり、駅のホームのざわめきを録音しておいて流したりなど場面をできるだけ再現すると、楽しくできるのではないのでしょうか。

体験・行動する

■活動シート

・活動4－友だちに聞いてみよう(p.x)

- 目的地の行き方が自由に尋ねられると、それだけ行動範囲が広がります。ここでは身近な話題として、友だちの家や友だちの仕事場までの行き方、行ってみたいところが聞けるようになることを目的としています。指導者、または支援者とまずやりとりして正しく発話できているか確認しておくといいでしょう。そのあとで、複数の友だちとやりとりしたり、ペアワークを行うなどして練習してください。初心者の場合には聞く側のAさん役をしてもらい、相手の言うことが理解できるようになればいいでしょう。やはりここでも路線図があると理解の助けになります。

余力のある学習者には、たとえば「友だちにおすすめの場所を聞いて、行き方を尋ねてください。」のようなタスクを課し、短い会話にチャレンジしてもらうのも一案です。

- 学習者に実際に行ってみたいところを質問してもらいます。たとえば「自国の料理の材料が売っている店はどこか、どうやって行ったらいいか」など本当に知りたい情報が求められるかもしれません。初心者の場合、メモは必ずしも日本語で書く必要はありません。生活に有用な情報はどんどん聞いてもらい、吸収していったほしいものです。

体験・行動する

■活動シート

・活動5－行ってみよう(p.x)

- ここでは、生活圏内の交通機関の主な駅の名前を覚え、自信をもって乗り降りすることができるようになることを目的としています。指導者はあらかじめ、もよりの交通機関(学習者が利用しそうな電車やバスなど)の簡単な路線図を用意しておいてください。学習者が一緒に見られる大きいサイズのものが便利でしょう。
- 学習者から知っている駅名を挙げてもらい、それが路線図のどこにあるか探してもらうことから始めてはどうでしょうか。大きな駅や乗換駅を中心に名前を確認していき、そのほか必要な駅名も漢字を見てわかるようにしておきましょう。また、行き方が何通りかある乗換駅を取り上げ、学習者に、どうやってそこまで行くか、またどうやって行くのが一番早いかなど経路を説明してもらいましょう。私鉄やJR、あるい

はバスでそれぞれ値段も違ってくるので、どれが一番安く行けるかも皆で意見交換するとよいでしょう。日本語初心者は、ここで主要な駅名の漢字がわかるようにしておく、安心して乗り降りすることができます。

- それぞれの学習者に、公園やスポーツセンター、安くておいしいレストランなどお勧めの場所を紹介してもらうことで、目的地までの経路を説明する練習になるほか、学習者同士、生活上の有用な情報を共有することができます。日本語初心者は、ここでは聞いてわかることを目標にするとよいでしょう。

参考情報

鉄道

地下鉄、JR、私鉄など様々な鉄道があります。切符は自動券売機で買ったり、窓口で買ったりします。行き先までの料金は路線図で調べます。小学生は半額、6歳未満の幼児は大人一人につき二人まで無料になります。一日乗車券や定期券など割安な切符もあります。定期券とプリペイドカードの機能をもったICカードを利用することもできます。

バスには、料金が均一のバスと、乗車距離によって料金が変わるバスがあります。均一料金のバスは、一般的に乗るときに運転席横の料金箱にお金を入れます。乗車距離によって料金が変わるバスでは、乗るときに整理券をとり、降りるときに運賃表で整理券の番号の料金を確認して、料金箱に入れます。バスにも一日乗車券や定期券、プリペイドカードがあります。

自分が降りるバス停がアナウンスされたら、座席近くのボタンを押して降りることを知らせます。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

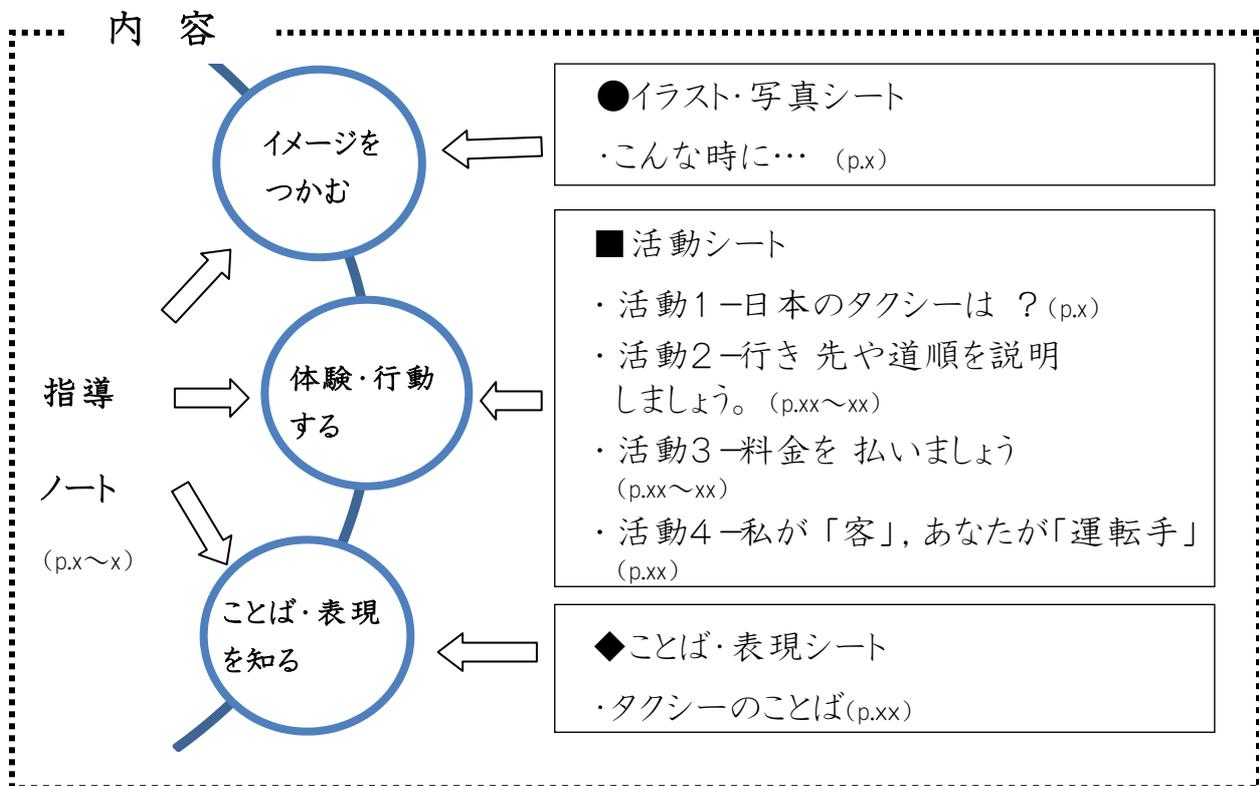
・駅のことば(p.x)

- 「①イメージをつかむ」で出てきた単語、あるいはよく使われそうな単語については、「ことば・表現シート」で確認しましょう。また場合に応じて必要な単語を導入してください。
- 「改札口」や「特急」「急行」「自由席」など、駅や列車では特に漢字を見て意味がわからないと困ることが多いものです。初級者でも漢字を見てすぐ意味がわかるようにしておくといよいでしょう。
- 図書館で乗り物の写真絵本など借りてきて、それを見せながら語彙を増やしていくのも楽しいものです。

発展的な活動

- ・ 車内放送や構内放送を聞き取るのは外国人にとって、なかなか難しいものです。決まり文句も多いので、ポイントだけでも聞き取ればかなり助かることでしょう。学習者の身近な交通機関に実際に指導者が乗って車内放送を録音し、教室でそれを聞かせてポイントを聞き取る練習をしたり、書き起こして穴あき問題を作成し、その部分を聞き取る練習をしたりなど、学習者の日本語レベルによっていろいろ工夫してみてもいいのではないでしょうか。

(11) たくしーの タクシーに乗る



取り上げる生活上の行為の事例

- (1101070)「道路でタクシーを止める」
- (1102040)「行き先を告げる」
- (1103060)「運賃を聞き取り払う」

教室活動の目標(○ページ参照)

- ・タクシーを利用して目的地に行く

教室活動のねらい(○ページ参照)

- ・日本のタクシーについて知る
- ・手を挙げてタクシーを止めたりタクシー乗り場で乗ったりできる
- ・自分の目的地を伝えてそこに行ってもらおうよう依頼できる
- ・タクシーメーターの運賃を読み取ることができる
- ・支払いに必要な運転手とのやりとりができる

● こんな ^{とき} 時に…



■ 活動1－日本のタクシーは？

☆「日本のタクシーはあなたの国のタクシーと同じですか？ 違いますか？」みんなで話し合ってみましょう。

日本のタクシーとはちがう乗り物がありますか？
どんな乗り物ですか？

運転手は男性ですか、女性ですか？
制服を着ていますか？



タクシーの料金は
どうやって決まりますか？
どうやって知りますか？

あなたの国のタクシー料金は、最初はいくらですか？
その金額で、例えばどんな品物が買えますか？

■ 活動2－行き先や道順を説明しましょう

「～まで お願いします。」 「次の信号で 右に 曲がってください。」

1) 会話例1 「行き先を告げる」

Aさん: ○○駅まで お願いします。

運転手: はい、わかりました。

2) 会話例2 「目的地まで道順を案内する」

Aさん: 山田町2丁目まで お願いします。小学校の となりの
アパートです。

運転手: はい、わかりました。

(20分後)

Aさん: つぎの 角を 右に まがってください。

運転手: はい、あそこ ですね。わかりました。

(タクシーが まがる)

Aさん: そのまま、まっすぐ 行ってください。左の 小学校の
となり です。

運転手: このへんで いい ですか。

Aさん: はい、どうも。ここで おります。

■ かつどう りょうきん はら
活動3－料金を払いましょう

せんえん ねが
「千円でお願いします。」

かいわれい うんちん きと はら
3) 会話例3 「運賃を聞き取って払う」

うんてんしゅ えん
運転手： 970円 です。

A さん： はい。

(はい。1,000円えんで お願いねがします。)

うんてんしゅ
運転手： はい、ありがとうございました。

(はい、30円えんの おつりです。ありがとうございました。)

A さん： どうもせわ(お世話せわさま でした)。

かいわれい りょうきんめーたー み しはら
4) 会話例4 料金メーターを見て支払う

A さん： 1,500円えんですね？ じゃあ、2,000円えんで お願いねがします。

うんてんしゅ
運転手： はい、そうすると、500円えんの お返しかえに なります。ありがとう

ございます。わすお忘れ物ものの ないように どうぞ。

A さん： はい。せわお世話せわさま でした。

■
かつどう
わたし
きゃく
うんでんしゅ
ろーるぷれい
活動4－私が「客」、あなたが「運転手」(ロールプレイ)

■
どいろ
たくしー
と
たくしー
の
道路でタクシーを止めて、タクシーに乗ってください。

① どいろで て あげると、たくしーが とまりました。

[Aさん]

の
乗るときに こえを かけてください。

うんでんしゅ
[運転手]

へんじ
返事をしてください。

② たくしーに の乗ってください。

[Aさん]

行き さき いを いってください。

うんでんしゅ
[運転手]

へんじ
返事をしてください。

③ もくてきちに つきました。 うんちん はらってください。

[Aさん]

うんちん はら
運賃を払ってください。

うんでんしゅ
[運転手]

うんちん い
運賃を言ってください。

④ おれい いって、たくしーを おりてください。

◆ たくしー
タクシーのことば

※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト
タクシー乗り場	空車	運転手	料金・運賃	運賃メーター

※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト
運転席	助手席	後部座席	ハンドル	シートベルト

※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト	※写真・イラスト
角	交差点	信号機	横断歩道	

- ・運賃(うんちん)
- ・おつり
- ・行き先(いきさき)
- ・一方通行(いっぽうつうこう)
- ・右折(うせつ)
- ・右/左に 曲がる(みぎ/ひだりに まがる)
- ・角を 曲がる(かどを まがる)
- ・料金(りょうきん)
- ・釣り銭(つりせん)
- ・目的地(もくてきち)
- ・進入禁止(しんにゅうきんし)
- ・左折(させつ)
- ・まっすぐ いく

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (1101070) 道路でタクシーを止める
- (1102040) 行き先を告げる
- (1103060) 運賃を聞き取り払う

教室活動の目標

- －タクシーを利用して目的地に行く。

教室活動のねらい

- －日本のタクシーについて知る(活動1)
 - －手を挙げてタクシーを止めたりタクシー乗り場で乗ったりできる
 - －目的地を伝えてそこに行ってもらおうよう依頼できる
 - －タクシーメーターの運賃を読み取ることができる
 - －支払いに必要な運転手とのやりとりができる
- (以上, 活動2～4)
- ・ 学習者が日本でタクシーを利用するのは少々勇気がいることかもしれません。目的地まで電車やバスでは行きにくいとき, 荷物が多いとき, 急ぐとき, または緊急のときに備えてタクシーを利用できる自信があれば心強いでしょう。
 - ・ ここでは, タクシーに替わる自国ののりものをお互いに紹介しあうことで, タクシーのイメージを学習者に引き寄せ, 同時にお互いの文化の違いを尊重し認め合う活動から入ることを提案しています。自国と比較しながら始めると, 学習に入りやすくなると思います。

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・こんな時に (p. x)

- ・ イラスト・写真シート「こんな時に」(p.x)を見せて, 日本のタクシーに乗ったことがあ

るか、どんなときにタクシーに乗りたいか、など質問(質問例参照)をしながら、学習者が話し合うことから始めてみましょう。

日本の車は左側通行であること、運転席は右ハンドル、ドアは自動で開閉、乗るときはうしろの席に乗り、人数が多くなるときは助手席にも乗るなど、日本のタクシー事情も同時に伝えるといいでしょう。都会では道路を「空車」で走っているタクシーが手を挙げて呼べば利用できること、駅前などに「タクシー乗り場」があること、電話をかけてタクシーを呼ぶことなど、タクシーの利用法も説明が必要でしょう。

そのほか、シートベルトをすること、料金メーターのこと(初乗り料金は決まっていますが、あとは一定の距離や経過時間ごとにプラスされることなど)、深夜料金があること、タクシーを呼んだときはその分の料金がかかること、一方、通常サイズのトランクやベビーカー程度の荷物なら別料金はかからないことなども話しておくといでしょう。

< 質問例 >

- ・ 学習者の日本語レベルに応じて表現を工夫してください。
「日本で、タクシーに乗ったことがありますか。」
「どんなときにタクシーに乗りたいですか。」
「日本でタクシーに乗りたいとき、どうしますか。」
(タクシー乗り場で乗る / 道路で車をひろう→手をあげる)
「あなたの国ではタクシーに乗るときどうしますか。」
「あなたの国のタクシー運賃はどのように決まっていますか。」
「タクシーに乗るとき、なにか困ったことがありましたか。」

体験・行動する

■ 活動シート

・ 活動1 - 日本のタクシーは？(p.x)

- ・ 国によって、タクシーに相当するいろいろな乗り物があるようです。ここでは日本のタクシーの利用のしかたに入る前に、自国の(タクシーがわりの)乗り物について紹介しましょう。イラストの質問例も参考にして話し合うことが、自国と日本の違いお互いの国の事情を理解する手がかりとなるでしょう。
- ・ 日本にきて間もない学習者には、絵を描いてもらったり、その絵を使ってこちらから「大きいですか、小さいですか」「男の人ですか、女の人ですか」など簡単な質問をしたり、「うんでんしゅ」「ハンドル」などの語彙を提示するなどして参加しても

らってはいかがでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－行き先や道順を説明しましょう (p.x)

－客として必要な表現を試してみるところから始めてみます。

○会話例1「行き先を告げる」(p.x)

- ・行き先を告げるときは、はっきり言うことが大切です。ここでは学習者の行きたい場所を入れて、「～までお願いします」の言い方を十分に練習してください。
- ・行き先がどうしても通じないときは、あらかじめ紙に書いておいてそれを見せるということも確実な手段です。公の場所ではないところは、住所を書いておくと安心です。

○会話例2「目的地まで案内する」(p.x)

- ・自宅まで帰る場合などは、近くが目印になる場所(公共の建物や神社など)も一緒に告げたり、ごく近くなったときには、「右に曲がってください」「まっすぐ行ってください」などの表現を使って説明できると便利です。
- ・応用練習として、道を示した大き目の地図を用意しておき、指導者が目的地に向かって車を地図上で動かし、学習者がその車に乗っていると仮定して、道案内をするのもよい練習になります。(但し、会話例2まで行うかどうかは、学習者の日本語レベルに応じて判断してください。)

体験・行動する

■活動シート

・活動3－料金を払いましょう(p.x)

○会話例3「運賃を聞き取り払う」(p.x)

- ・運転手が「〇〇円です」「〇〇円になります」と料金を言うのを聞き取って支払います。おつりのあるときのやりとりも、一つのつながりとして扱うといいでしょう。客のことばには「ありがとう」「お世話さま」「どうも」などの簡単なお礼の表現までが含まれると扱うのが適切でしょう。

○会話例4「料金メーターを見て支払う」(p.x)

- ・ 実際には、料金メーターに料金が表示されるのが普通ですから、運転手のことばの聞き取り取りに頼らなくても大丈夫です。会話例4は、運転手のことばを待たずに、客が自分で料金を読み取って支払いを始める場合の例です。おつりのやりとりや最後のお礼などは、会話例3と共通する内容です。

体験・行動する

■活動シート

・活動4—私が「客」、あなたが「運転手」(p.x)

- ・ 活動3まででは、学習者は「客」の立場での表現を試しました。それを踏まえて、ここでは、学習者が運転手の立場や表現も経験できるようなロールプレイを取り入れてみましょう。
- ・ p.x には、道路でタクシーを止めて乗る一連のロールプレイが示してあります。ここでは実際に動いてやってみてください。
- ・ いすを縦にふたつ並べてタクシーの運転手と乗客の座席にしてはどうでしょう。運転手役は帽子をかぶって紙皿をハンドルに見立てて運転の動作を行うなどして、できるだけ雰囲気作りをすると楽しくできるでしょう。乗るときの声かけは「お願いします」が一番使いやすいくでしょう。このロールプレイでは行き先を告げるだけになっていますが、学習者の日本語レベルに応じて会話例2のような場面も入れるとよいでしょう。運賃を払うのもおもちゃのお金を使用するなどして実際にやりとりをしてみてください。実際のタクシーに臆することなく乗ってみたいくなるという動機付けになることを目標として意識していきたいものです。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

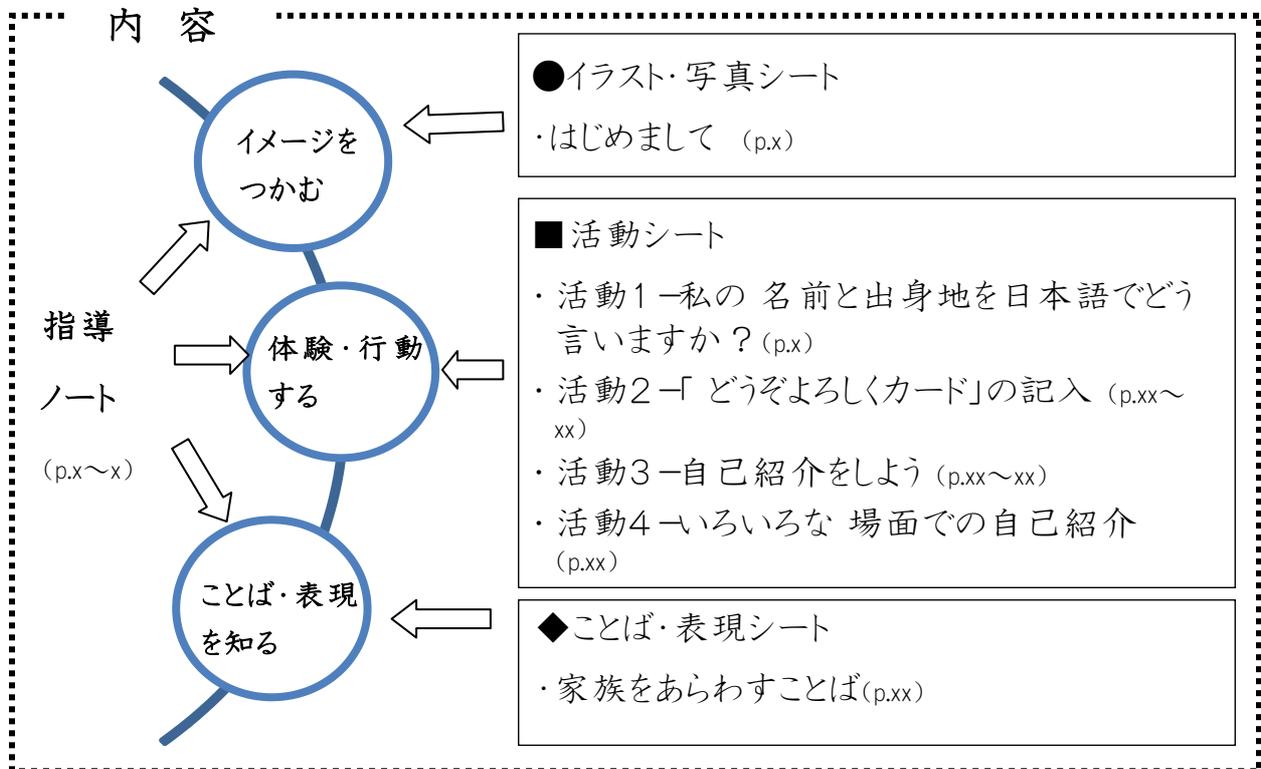
・タクシーのことば(p.x)

- ・ 「タクシーに乗る」という生活上の行為で用いられることばや表現は、他に比べてそれほど多くもなく複雑でもないと言えるでしょう。導入で見た「こんな時に」のイラスト・写真(p.x)や、「活動1:日本のタクシーは?」から「活動4:ロールプレイ」までで扱うことばや表現で、基本的な範囲はカバーできると思われます。
- ・ p.xにイラスト・写真を添えて挙げた単語や表現を活動の中で具体的に使う練習

やロールプレイをこころがけましょう。

- そうした中で留意したいのは、タクシーを利用する際に頻繁に使いそうなことばです。たとえば「〇〇までお願いします」「まっすぐに行ってください」「〇〇に曲がってください」「そこで止まってください」などの言い回しや、「信号」「交差点」「シートベルト」「空車」などの単語をとりたてて扱うが必要になります。

(31) はじめまして！



取り上げる生活上の行為の事例

- (3102010)「自己紹介の仕方を理解する」
- (3102020)「相手の状況に応じた自己紹介の仕方を理解する」
- (3102050)「仕事上の公的な自己紹介をする」
- (3102070)「私的な場面で自己紹介をする」
- (3101130)「人間関係のきっかけを作るあいさつをする」

教室活動の目標(○ページ参照)

- ・自己紹介をすることができる

教室活動のねらい(○ページ参照)

- ・自分の基本的な情報を伝え、初対面の人と人間関係を築く基礎を作る
- ・挨拶の種類を選択できる
- ・場面に応じた表現を選択することができる
- ・相手の立場に合わせた表現ができる

● はじめまして

クラスで自己紹介（地図などを示しながら）をしている写真またはイラスト

仕事の場面で名刺交換をしている写真

子どもの幼稚園・学校などで、他の保護者とはじめてのあいさつ、自己紹介をしている場面の写真

■ ^{かつどう}活動1－^{なまえ}わたしの名前と ^{しゅっしんち}出身地を ^{にほんご}日本語で どう
い
言いますか？

※名札の作り方を図示

※名札を使って、名乗りをしている場面を表す写真・イラスト

■ 活動2—「どうぞ よろしくカード」の 記入

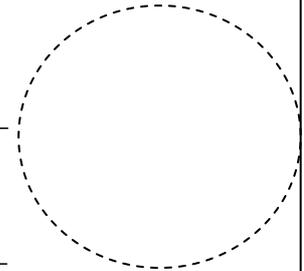
どうぞ よろしく!

【1】名前(なまえ):

Name/姓名/이름 :

なまえの意味(いみ)

翻訳(ほんやく): _____



【2】出身(しゅっしん):

Home country/town / 出身地/ 출신지:

【3】家族(かぞく):

Family/ 家族/ 가족:

ひとり ふたり さんにん よにん ごにん ろくにん しちにん

1人, 2人, 3人, 4人, 5人, 6人, 7人

【4】すんでいるところ:

Place of residence/居住地/거주지:

【5】趣味(しゅみ):

Hobbies/ 爱好 / 취미:

【6】仕事(しごと):

Occupation / 工作/ 직업:

■ 活動3－いろいろな自己紹介

1. いろいろな自己紹介の例をみてみましょう。どんなところがちがいますか。

2. 自分が実際に使いそうな場面はどれですか。自分の自己紹介を考えてやってみましょう。

例1) 日本語教室で(クラスメートと指導者・協力者に)

はじめまして。ワンです。出身は中国です。
どうぞよろしくおねがいします。

日本語教室での自己紹介の様子
のイラスト(表紙のもの
と同一でよい)

はじめまして。マリアです。
フィリピンのセブから来ました。今、山下に住んでいます。
家族は4人です。夫と子供が2人います。
趣味はハンドクラフトです。
主婦です。(仕事は、今、していません。)
どうぞよろしくおねがいします。

例2) 仕事で

はじめまして。わたし、〇〇株式会社の〇〇と申します。
(名刺を渡しながら)どうぞよろしくおねがいします。

仕事の場面で名刺交換の様
子のイラスト(表紙のもの
と同一でよい)

れい こ よう ち えん ほ ご しゃ
例3)子どもの 幼稚園で(ほかの保護者に)

はじめまして。ひまわり組の 高橋ジャスティンの 母です。
高橋ヘレンと 申します。どうぞ よろしくおねがいます。

子供の幼稚園・学校などで
他の保護者とあいさつ（表
紙のものと同一でよい）

れい おな まんしょん じゆうにん えれべーター あ
例4)同じ マンションの 住人に エレベーターなどで 会って

初対面の 挨拶をする 場面で：
こんにちは。702号室の チョウと申します。
どうぞ よろしくおねがいます。

エレベーター内で初対面の
隣人と挨拶しているイラスト

れい ひ こ となり いえ ひと あいさつ ばめん
例5)引っ越して きたとき、隣の 家の 人に 挨拶を する 場面

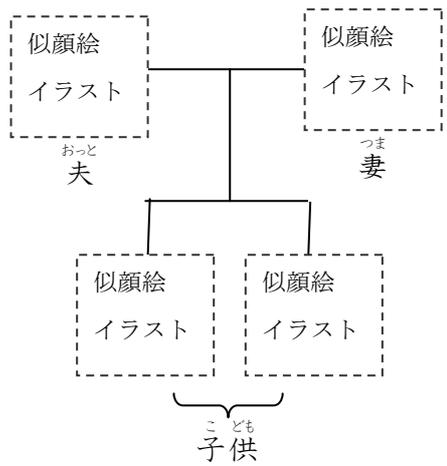
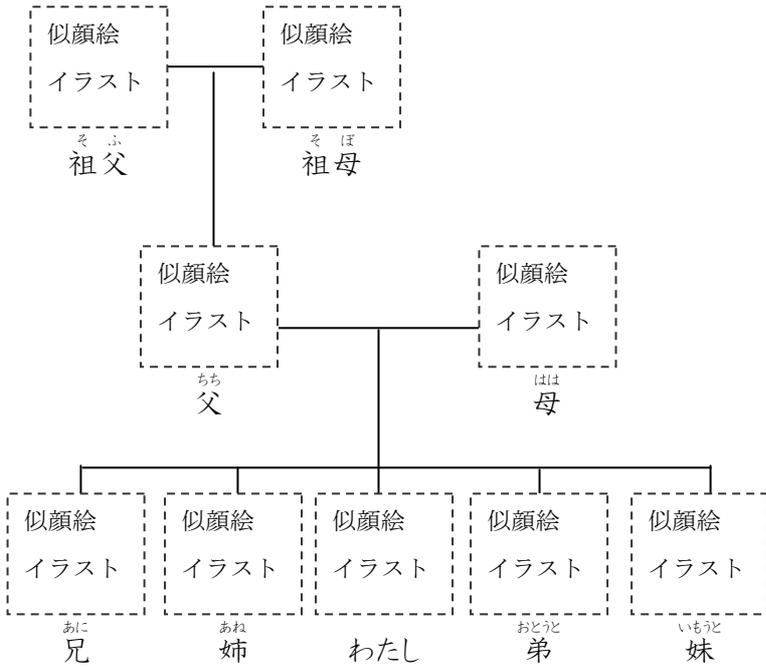
A: ごめんください。隣に 引っ越してきた 木村です。
どうぞ よろしくおねがいます。
B: 鈴木です。こちらこそ、どうぞよろしく。

隣人宅に、引越しの挨拶を
しにいき、菓子折りを渡し
ている場面のイラスト

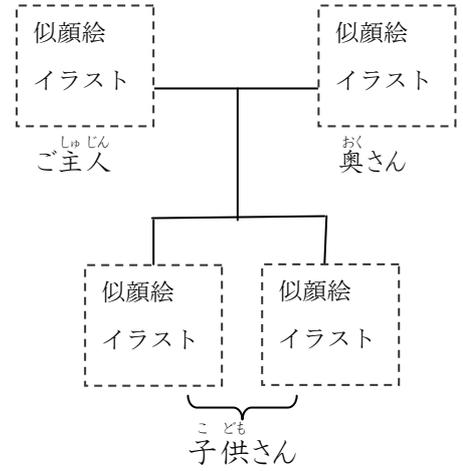
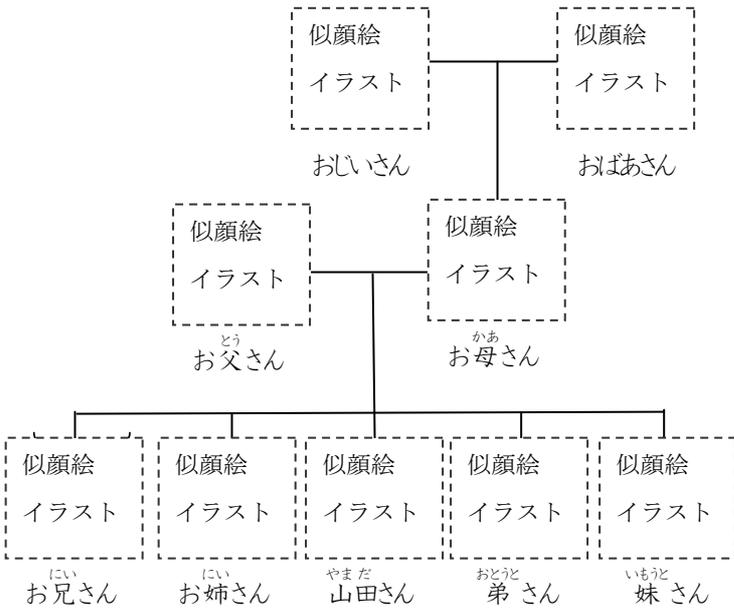
B: まあ、どうもすみません。

◆ かぞく 家族を あらわす ことば

わたしの かぞく 家族



やまだ 山田さんの かぞく ご家族



指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (3102010)「自己紹介の仕方を理解する」
- (3102020)「相手の状況に応じた自己紹介の仕方を理解する」
- (3102050)「仕事上の公的な自己紹介をする」(「発展的な活動」)
- (3102070)「私的な場面で自己紹介をする」
- ((3101130)「人間関係のきっかけを作るあいさつをする」)

教室活動の目標

- －自己紹介をすることができる

教室活動のねらい

- －自分の基本的な情報を伝え、初対面の人と人間関係を築く基礎をつくる
 - －あいさつの種類を選択できる
 - －場面に応じた表現を選択することができる
 - －相手の立場に合わせた表現ができる
 - －敬語・丁寧体を適切に利用できる
- ・ 自己紹介は、自分の基本的な情報を伝え、初対面の人との人間関係を築く基礎をつくるものです。自分自身のことを表現し、自身の社会参加の第一歩でもあります。場面や相手に応じた自己紹介の「型」を紹介するだけでなく、やりとりの中で、その人らしい自己紹介ができるように、一緒に考え、新しい形を作っていくこともまた意味があるでしょう。

活動前に確認しておくこと

- －学習者の名前(姓と名がある場合の順序、母語での表記、日本語での発音等)の把握
- －学習者の出身地、現在住んでいるところの地名の把握

準備する素材

- －「イラスト・写真」の拡大コピー(あらかじめ黒板等に掲示)
- －世界地図、日本地図、地域の地図(あらかじめ黒板等に掲示か、必要に応じて掲示)

－首から掲げる名札(学習者の名前を書いておく)と机に置く名札にするA4用紙

イメージをつかむ

● イラスト・写真シート ・はじめまして(p.x)

- ・ 初回のクラスであれば、自己紹介の文脈は自然に認識されるので必ずしも必要ありませんが、「自己紹介」という概念を可視化するために、イラスト・写真シート(p.x)の拡大コピーをあらかじめ黒板等に掲示しておくとい良いでしょう。
- ・ 初回のクラスで、学習者の多くが日本語のほとんどできない人の場合、「名乗り」(わたしは、〇〇です。)の導入から行う必要があります。
- ・ その場合は、名札(首から掲げるものでも、机に置くものを手に持ってでもかまいません)を掲げて行います。まず、指導者が、自分の名札を示し、自分の胸を手で指して、「わたしは、〇〇〇〇です。」と言います。次に指導者は学習者一人一人について、その名札を読むようにして、「この人は、〇〇〇〇さんです。」と言い、「わたしは、〇〇〇〇です。」と言わせるように促します。その学習者に向かって手でどうぞと促しながら、必要なら「わたしは……？」と言葉を添えます。「わたしは、〇〇〇〇です。」と言えたら、大きくうなずいて「いいですね」などと褒めてください。自分のなまえに「さん」を付けて、「わたしは、〇〇〇〇さんです。」という学習者もいると思います。「さん」を取って、「わたしは、〇〇〇〇です。」と言い換えて、学習者にまねをさせます。この活動を全員で行います。恐らく、かなり時間がかかると思います。その場合、以下の活動は、可能な範囲で行います。
- ・ ここでは、以上が済んでいる学習者の場合として次の活動に進みます。

< 問いかけ例 > (「イラスト・写真」の拡大コピーを指して)

「ここは、どこですか？」

「これは、だれですか？」

「あなたの国では、初めて会った人とどんなあいさつをしますか？」

「日本で、初めてあった人とどんなあいさつをしましたか？」

「自己紹介はできますか？」

体験・行動する

■活動シート

・活動1－わたしの 名前と 出身地を 日本語で どう 言いますか？
(D.X)

- ・ 指導者は、学習者の名前を呼んで確認しながら、学習者一人ひとりの名前を書いた名札を配布します。指導者から始めて学習者が、自分の名札を示しながら「○○○○です。」と名前をはっきり発音します。仮名がある程度書ける学習者が多ければ、自分の名前を発音しながら仮名で書く練習をします。必要に応じて指導者や協力者がフォローしてください。仮名が書けない学習者が多ければ次の活動に移ります。
- ・ 次に、x ページの図を参照しながら、A4用紙を四つに折って、一つの面を重ねて三角柱を寝かした形のネームプレートを作ります。学習者は、三角柱を一度開いて、一つの面にカタカナ又はひらがなで自分の名前を書きます。50音図(ひらがな・カタカナ)も黒板等に掲示しておき、適宜、音と文字の参照ができるようにしておきましょう。

仮名が書けない場合は一面に母語で書いてもらって、指導者や協力者が、その発音を聞いて、別の面に仮名で書きます。

学習者が書き終わったら、指導者は自分の名札を指で指し示し、自分の名前を言います。それに倣って、学習者が一人ずつ自分の名前を言っていくように促します。

次に、地図を指し示しながら、出身地についても言い方を確認します(正確な文になっていなくても、まずは固有名詞のレベルで確認ができることを目指し、余裕がある人には文の形でも確認できるように提示するとよいでしょう。)

指導者:「出身は？」(地図のいろいろなところをさしながら)

学習者:(地図中にある自分の出身国や地域を指差す)「ちゅう…」

指導者:「ちゅうごく」

学習者:(リピート)「ちゅうごく」

指導者:「ちゅうごく の… ペキン? シャンハイ?」

学習者:「あ… ダイレン」

指導者:「ダイレンですね。ちゅうごく の ダイレン。出身は 中国の
大連です」

体験・行動する

■活動シート

・活動2—どうぞ よろしくカードの記入～(p.x)

- ・ 指導者は活動2のワークシート「どうぞよろしく！」(p.x)を配布します。また、指導者自身がワークシートに記入したのもコピーして配布します。記入のしかたについては、参考用に「どうぞよろしくシート 記入例」(p.x)がありますが、参加者の状況にあわせて配布するかしないか、自由に対応してください。
- ・ 指導者は学習者に「どうぞよろしく」の表現の確認をした後、ワークシートに「【1】名前」と「【2】出身地」「【3】家族の人数」「【4】すんでいるところ」を、ひらがなとカタカナを用いて記入してもらいます(ごく初期のクラスの場合は、仮名の読みの練習・確認をするステップを入れてもよいでしょう。学習者がひらがな・カタカナが書けない場合は、アルファベット等を用いて書いてもらって指導者が仮名で併記する形で書き込んで示したり、学習者が発した音を聞いたりしてワークシートに指導者が書き込んで示してもよいでしょう)。ワークシートのそのほかの項目(【5】、【6】)は「より熟達した行動へ」の活動4で利用します。学習者に応じて利用してください。すべての項目について学習者の母語訳は適宜増減やしてください。
- ・ 指導者は「わたしは〇〇です」「しゅっしんは〇〇です」の表現形式を使って、自分のことを述べるモデルを示します。続いて学習者が一人ずつ言っていきます。
- ・ 同様に「かぞくは〇〇人です」「〇〇にすんでいます」について行います。
- ・ 全員が終わったら、指導者は、「はじめまして、どうぞよろしくお願ひします」の意味の確認をし、動作と一緒に「はじめまして、どうぞよろしくお願ひします」「こちらこそ、よろしくお願ひします」の表現練習をします。協力者がいればはじめに指導者と協力者がモデルを示すとよいでしょう。協力者がいない場合は、このあいさつ表現になれていそうな学習者を相手にします。その後で、学習者と指導者、学習者どうしで動作をしながら初対面のあいさつの練習をします。
- ・ 最後に、クラス(クラス人数が多い場合は、グループ)全体に向けて、自己紹介のあいさつをします。一人一人が、「はじめまして、わたしは〇〇〇〇です。しゅっしんは〇〇です。かぞくは〇にんです。〇〇にすんでいます。よろしくお願ひします」と言って仕上げとします。

体験・行動する

■活動シート

・活動3－協力者との交流活動(p.x)

- ・ 日本語話者(日本人, または日本語でのコミュニケーション力のある外国人)に, 協力者として教室に参加してもらい, 活動2で学習した表現を使って, 実際に自己紹介を行い, また協力者と学習者がペア, あるいは一対二, 三で, 写真を見せ合いながら対話を行います。協力者に, 自分の写真(出身地, 家族, 趣味があらわれているものなど)を持ってきてもらうように, 指導者は前もって連絡しておきます。活動2までを初回の授業で終え, 活動3を次の回で行うことが考えられるので, その場合は, 初回の活動の最後に学習者にも「次回は写真をもってきてください」ということを伝えておくと, より活動が進めやすくなるでしょう。
- ・ 指導者は, 学習者と協力者をペア, または小グループに分けます(協力者一人に対して学習者1～3人程度が望ましいが協力者の人数によって適宜調整)。それぞれのペア又はグループで, メンバー同士で自己紹介をしてもらいます。まずは, 活動2で学習した表現を使用して, ひととおり自己紹介ができれば, それぞれに持ってきた写真を見せ合いながら, 会話を進めるようにします。指導者は学習者と協力者との対話が円滑に展開しているか見守りながら目配りし, 話が進まなくなっているペア/グループにおいては, 対話を活性化させるための問いかけを指導者が投げかけるなどし, 意思疎通がうまくいくように手助けをします。ただし, 学習者側の日本語力によって, 表現可能なことを全部使い果たしているようなグループが出たら, すべての協力者が一斉に別のグループへ移動することを願います。

体験・行動する

■活動シート

活動4－いろいろな自己紹介(p.x)

- ・ 名前, 出身, 居住地, 趣味, 仕事, 家族などの中から, 学習者の日本語能力, 場面や相手に応じて必要な項目, 好きな項目を選んで自己紹介ができるようにします。
- ・ 活動4「いろいろな自己紹介」に示されている 例1～例5の場面別の例について

て、指導者は協力者と共にパフォーマンスを行い、学習者にそれを観察してもらいます。指導者は「ここはどこでしょうか」「これはだれですか」等、各場面のイラスト等を指しながら質問し、場面や状況の違いについて気付いたことを言ってもらいます。

- ビデオ機器が使える環境であれば、多様な自己紹介(初対面の挨拶)場面のビデオを見せて、さらに観察を促すのもいいでしょう。観察した場面の中で、自分が実際に遭遇しそうな場面を学習者に選んでもらい、例を参考にしながら自分なりの自己紹介をシミュレーションしてみます。

< 参考となるビデオ >

- 海外技術者研修協会『みんなの日本語| 会話ビデオ』
「第1課」「第2課」
- 国際交流基金『WEB版エリンが挑戦！日本語できます』
<https://www.erin.ne.jp/jp/>
第1課「はじめてのあいさつー教室」
(基本スキット, 応用スキット, 大切な表現, やってみよう(名刺交換), いろいろな使い方)
- 国際日本語普及協会『ようこそ！さくら小学校へ～みんななかまた～』
「1. はじめてのあいさつ ①校長室で ②教室で」
「2. 学校生活と仲間たち ⑧運動会」(保護者とのあいさつ)
- 国際日本語普及協会『Japanese for Busy People I: The video』Lesson 1

< 社会文化情報 > (指導者, 協力者の参考資料として)

- 文化審議会国語分科会『「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的カリキュラム案について』
 - ・ p.96 「社会・文化的情報 3102010 自己紹介の仕方を理解する」
 - ・ p.97 「社会・文化的情報 3102020 相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する」

【参考】「どうぞよろしくシート」記入例

〈学習者1〉

【タスク1】 どうぞよろしく!

【1】名前 (なまえ):
Name/姓名/氏名: 王 健 

【2】すんでいるところ:
Place of residence/居住地/ 거주지: 石川町

【3】出身 (しゅっしん):
Home country/town / 出身地/ 출신지: 中国 (大連) 大連

【4】趣味 (しゅみ):
Hobbies/ 愛好 / 嗜好: 音楽 みんがく

【5】仕事 (しごと):
Occupation / 工務 / 직업: 店員 店员

【6】いろいろな活動 (ちいさかつどう):
*仕事以外のいろいろな活動。ボランティア、子供学校での保護者の係、サークル活動、地域活動など。
Activities, community works, etc. / xxx/xxxx: ?

【7】家族 (かぞく):
Family/ 家族 / 가족:

ひとり 1人 (ひと)	ふたり 2人	さんじん 3人	よんじん 4人	ごじん 5人	ろくにん 6人	しちにん 7人
-------------------	-----------	------------	------------	-----------	------------	------------

★ひとこと message ★

〈学習者2〉

【タスク1】 どうぞよろしく!

【1】名前 (なまえ):
Name/姓名/氏名: KIMURA, MARIA 

【2】すんでいるところ:
Place of residence/居住地/ 거주지: YAMASITA

【3】出身 (しゅっしん):
Home country/town / 出身地/ 출신지: PHILIPPINES (CEBU)

【4】趣味 (しゅみ):
Hobbies/ 愛好 / 嗜好: HANDBAAT, COOKING

【5】仕事 (しごと):
Occupation / 工務 / 직업: HOUSEWIFE SHUFFLE
(In the Philippines: KASIDIAN)

【6】いろいろな活動 (ちいさかつどう):
*仕事以外のいろいろな活動。ボランティア、子供学校での保護者の係、サークル活動、地域活動など。
Activities, community works, etc. / xxx/xxxx: TABUNEA MAMA AND FAI

【7】家族 (かぞく):
Family/ 家族 / 가족:

ひとり 1人 (ひと)	ふたり 2人	さんじん 3人	ごじん 4人	ろくにん 6人	しちにん 7人
-------------------	-----------	------------	-----------	------------	------------

★ひとこと message ★

〈協力者〉

【タスク1】 どうぞよろしく!

【1】名前 (なまえ):
Name/姓名/氏名: 田中 正 

【2】すんでいるところ:
Place of residence/居住地/ 거주지: 本野

【3】出身 (しゅっしん):
Home country/town / 出身地/ 출신지: 日本 (長野)

【4】趣味 (しゅみ):
Hobbies/ 愛好 / 嗜好: 写真, 山のぼり

【5】仕事 (しごと):
Occupation / 工務 / 직업: 元会社員 (2年前に定年退職)

【6】いろいろな活動 (ちいさかつどう):
*仕事以外のいろいろな活動。ボランティア、子供学校での保護者の係、サークル活動、地域活動など。
Activities, community works, etc. / xxx/xxxx: 日本語ボランティア, 山ゆめ会 (写真同好会)

【7】家族 (かぞく):
Family/ 家族 / 가족:

ひとり 1人 (ひと)	ふたり 2人	さんじん 3人	ごじん 4人	ろくにん 6人	しちにん 7人
-------------------	-----------	------------	-----------	------------	------------

【参考情報】

★ひとこと message ★

〈指導者〉

【タスク1】 どうぞよろしく!

【1】名前 (なまえ):
Name/姓名/氏名: 川本 由美 

【2】すんでいるところ:
Place of residence/居住地/ 거주지: 南台

【3】出身 (しゅっしん):
Home country/town / 出身地/ 출신지: 日本 (東京)

【4】趣味 (しゅみ):
Hobbies/ 愛好 / 嗜好: ハイキング, 水泳

【5】仕事 (しごと):
Occupation / 工務 / 직업: OO協会 日本語指導員

【6】いろいろな活動 (ちいさかつどう):
*仕事以外のいろいろな活動。ボランティア、子供学校での保護者の係、サークル活動、地域活動など。
Activities, community works, etc. / xxx/xxxx: 図書館ボランティア, 子どもの小規模広報委員

【7】家族 (かぞく):
Family/ 家族 / 가족:

ひとり 1人 (ひと)	ふたり 2人	さんじん 3人	ごじん 4人	ろくにん 6人	しちにん 7人
-------------------	-----------	------------	-----------	------------	------------

★ひとこと message ★